

務	00	01	10年
(令和17年3月末まで保存)			

生 企 第 3 1 3 号
令 和 6 年 1 1 月 8 日

生 活 安 全 企 画 課 長
各 警 察 署 長 殿

青 森 県 警 察 本 部 長

大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律の施行に伴う審査基準等の改定について

行政手続法（平成5年法律第88号）に基づく審査基準、標準処理期間及び処分基準（以下「審査基準等」という。）のうち風俗営業及び危険物業務等に係る審査基準等については、「刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律等の施行等に伴う審査基準等の改定について」（令和5年7月11日付け生保第74号。以下「旧通達」という。）により示達しているところであるが、この度、大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律（令和5年法律第84号。以下「改正法」という。）の施行に伴い、審査基準等を別添のとおり改定し、その概要は下記のとおりであるので、誤りがないように対応されたい。

なお、本通達により示達した処分基準の別表において改正法に係る事項については、令和6年12月12日（改正法の施行日）からの運用となることから、同日をもって旧通達は廃止する。

記

1 処分基準の別表の改定

改正法により大麻取締法（昭和23年法律第124号）において条文の削除、新設等が行われたこと及び麻薬及び向精神薬取締法（昭和28年法律第14号）において麻薬の定義が変更されたことに伴い、処分基準の別表について所要の改定を行った。

また、道路交通法（昭和35年法律第105号）第77条第1項の規定に違反する行為（無許可道路使用）に係る関係条項に誤りがあったことから改めた。

2 問い合わせ先の改定

令和6年4月1日から施行された組織改編により、審査基準等における問い合わせ先について、生活安全部生活保安課を生活安全部生活安全企画課に改めた。

3 留意事項

この通達により示達した処分基準の別表において改正法に係る事項については、令和6年12月12日（改正法の施行日）から運用されるものである。

なお、改正法の施行前に行われた大麻取締法第24条の2、第24条の3又は第24条の7に違反する行為について、改正法の施行後に処分を行う場合には、それぞれ改

正法による改正後の麻薬及び向精神薬取締法第66条、第66条の2又は第68条の2に違反する行為とみなし、それぞれの処分の量定は、同法の処分基準によることとする。

担当：生活安全企画課
営業・危険物係

別添

審 査 基 準

令和6年1月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第3条第1項（第4条第3項の規定の適用がない場合に限る。）
処 分 の 概 要：風俗営業の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第4条第1項、第2項及び第4項（許可の基準）、第5条第1項（許可申請の手続） 風俗営業等適正化法施行令第6条（風俗営業の許可に係る営業制限地域の指定に関する条例の基準） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第1条（風俗営業の許可申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（許可申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第7条（構造及び設備の技術上の基準）、第8条（著しく射幸心をそそるおそれのある遊技機の基準）、第9条（風俗営業の許可申請の手続）
審 査 基 準： ① 風俗営業等適正化法第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。 ② 風俗営業等適正化法第4条第2項第3号 この規定に該当する場合は、管理者となるべき者を全く選任していない場合、管理者として選任した者が法の定める要件を満たしていない場合、選任しようとする者が当該営業所に勤務することが到底期待できない場合等である。
標 準 処 理 期 間：別紙のとおり
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12を参照すること。

別紙

風俗営業の許可については、申請時期等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。

ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

55日（うち経由機関における期間40日）

ただし、申請が到達した時点において、当該申請に係る営業所が存在し、実地調査が可能な場合（風俗営業等適正化法第4条第4項に規定する営業に係る申請にあつては、当該申請が到着した時点において当該申請に係る営業所が存在し、実地調査が可能であり、かつ、当該営業所に設置しようとする遊技機が同法第20条第2項の認定を受けたもの又は同条第4項の検定を受けた型式に属するもののみである場合）に限る。

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第3条第1項（第4条第3項の規定の適用がある場合に限る。）
処分の概要：風俗営業の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法第4条（許可の基準）、第5条第1項（許可申請の手続） 風俗営業等適正化法施行令第7条（法第4条第3項の政令で定める事由） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第1条（風俗営業の許可申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（許可申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第7条（構造及び設備の技術上の基準）、第8条（著しく射幸心をそそるおそれのある遊技機の基準）、第9条（風俗営業の許可申請の手続）
審査基準： ① 風俗営業等適正化法第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。 ② 風俗営業等適正化法第4条第2項第3号 この規定に該当する場合は、管理者となるべき者を全く選任していない場合、管理者として選任した者が法の定める要件を満たしていない場合、選任しようとする者が当該営業所に勤務することが到底期待できない場合等である。
標準処理期間：別紙のとおり
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12を参照すること。

別紙

風俗営業の許可については、申請時期等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。

ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

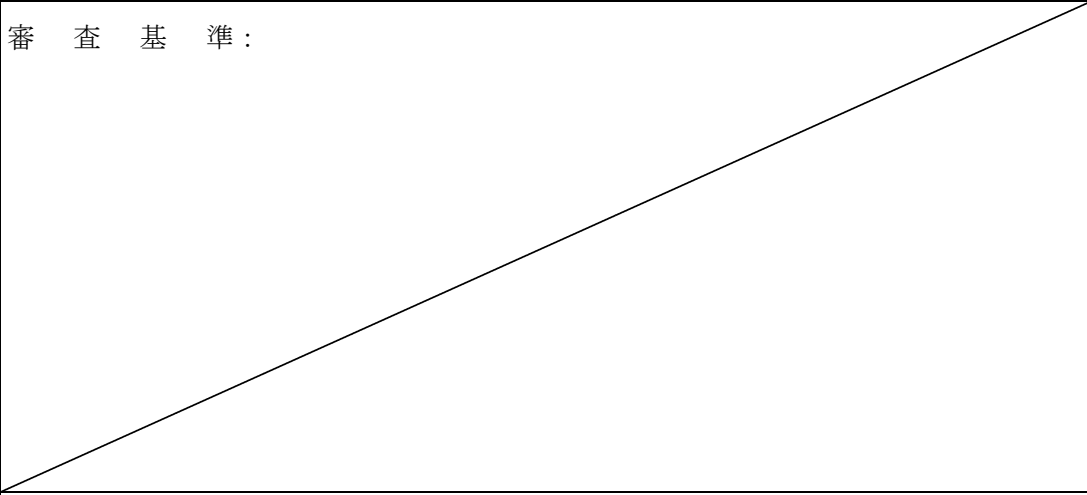
記

60日（うち経由機関における期間45日）

ただし、申請が到達した時点において、当該申請に係る営業所が存在し、実地調査が可能な場合（風俗営業等適正化法第4条第4項に規定する営業に係る申請にあつては、当該申請が到着した時点において当該申請に係る営業所が存在し、実地調査が可能であり、かつ、当該営業所に設置しようとする遊技機が同法第20条第2項の認定を受けたもの又は同条第4項の検定を受けた型式に属するもののみである場合）に限る。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第5条第4項
処 分 の 概 要：許可証の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（許可証再交付申請書の提出）、第12条（許可証の再交付の申請）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第7条第1項
処 分 の 概 要：風俗営業の相続の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第7条第3項において準用する第4条第1項（承認の基準） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（相続承認申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第13条（風俗営業の相続の承認の申請）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。
標 準 処 理 期 間：30日（うち経由機関における期間22日）
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第13を参照すること。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第7条第5項
処 分 の 概 要：相続の承認による許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第17条（許可証の書換えの手続）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第7条の2第1項
処 分 の 概 要：風俗営業者たる法人の合併の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第7条の2第2項において準用する第4条第1項(承認の基準) 風俗営業等適正化法施行規則第1条（合併承認申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第14条（風俗営業者たる法人の合併の承認の申請）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。
標 準 処 理 期 間：35日（うち経由機関における期間25日）
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第14を参照すること。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第7条の2第3項において準用する第7条第5項
処 分 の 概 要 : 法人の合併による許可証の書換え
原権者 (委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 風俗営業等適正化法施行規則第1条 (書換え申請書の提出)、第17条 (許可証の書換えの手続)
審 査 基 準 :
標 準 処 理 期 間 : 14日
申 請 先 : 営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先 : 営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考 :

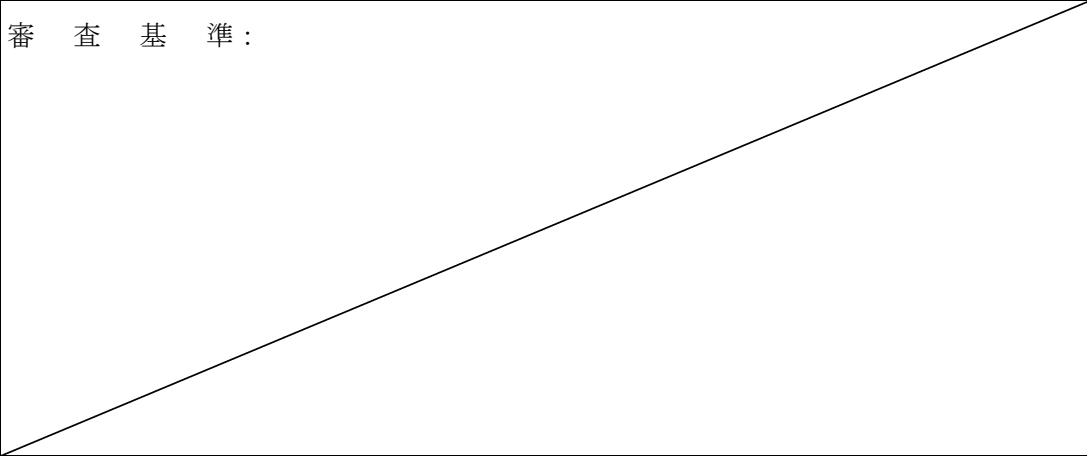
審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第7条の3第1項
処 分 の 概 要：風俗営業者たる法人の分割の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第7条の3第2項において準用する第4条第1項(承認の基準) 風俗営業等適正化法施行規則第1条（分割承認申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第15条（風俗営業者たる法人の分割の承認の申請）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。
標 準 処 理 期 間：35日（うち経由機関における期間25日）
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第15を参照すること。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第7条の3第3項において準用する第7条第5項
処 分 の 概 要：法人の分割による許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第17条（許可証の書換えの手続）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第9条第1項
処分の概要：営業所の構造又は設備の変更の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法第3条第2項（公安委員会が付した条件）、第4条第2項第1号（構造及び設備の技術上の基準）、第9条第2項（承認の基準） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第1条第1号～第3号（変更承認申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（変更承認申請書の提出）、第7条（構造及び設備の技術上の基準）、第19条（変更の承認の申請）
審査基準：
標準処理期間：別紙のとおり
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考： 法令の定め解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12の8及び第17の1を参照すること。

別紙

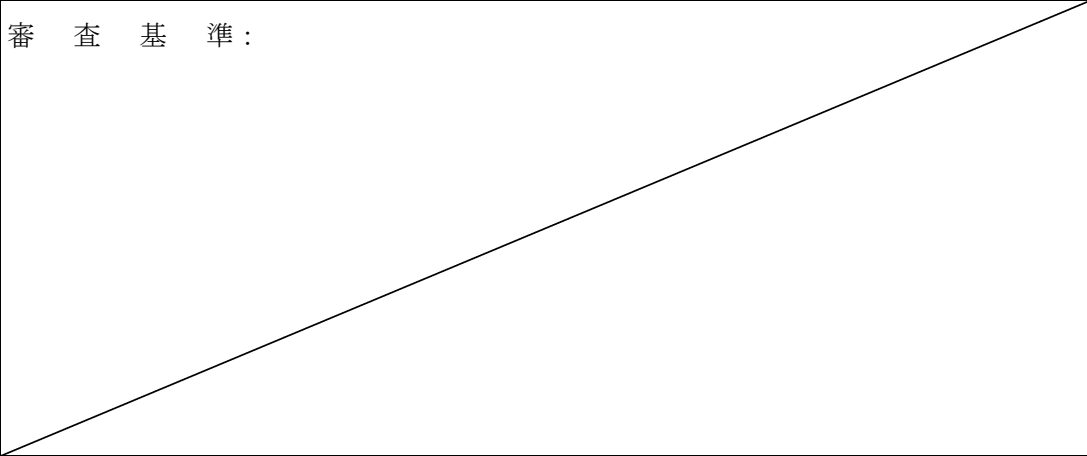
営業所の構造又は設備の変更の承認については、変更対象の規模等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

申請に係る営業所の実態調査を行った日から10日（うち経由機関における期間7日）

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第9条第4項
処 分 の 概 要：許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第5条第1項（許可の申請）、第9条第3項第1号（許可証の記載事項の変更の届出）、第9条第4項（許可証の書換え） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第22条において準用する第17条（許可証の書換えの手続）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第10条の2第1項
処 分 の 概 要：特例風俗営業者の認定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第10条の2第2項（認定申請の手続） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第5条（特例風俗営業者の認定申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第24条（特例風俗営業者の認定の基準）、第25条（特例風俗営業者の認定申請の手続）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第10条の2第1項第2号 「受けるべき事由が現に」ある場合とは、いまだ処分をするには至っていないものの、処分をするに足りる事由を当該公安委員会が認知していることをいい、例えば、処分に係る聴聞又は弁明の機会の付与の手続の前又はその途中で認定の申請がなされた場合等が当たる。
標 準 処 理 期 間：別紙のとおり
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の定め解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第16を参照すること。

別紙

特例風俗営業者の認定については、認定対象の営業所の規模等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。
ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

申請に係る営業所の実態調査を行った日から30日(うち経由機関における期間23日)

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第10条の2第5項
処分の概要：認定証の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（認定証再交付申請書の提出）、第26条第3項において準用する第12条（認定証の再交付の申請）
審査基準：
標準処理期間：14日
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第20条第10項において準用する第9条第1項
処分の概要：遊技機の増設、交替その他の変更の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法第3条第2項（公安委員会が付した条件）、第4条第4項（承認の基準）、第20条第10項において準用する第9条第2項 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第1条第11号（変更承認申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（変更承認申請書の提出）、第8条（著しく射幸心をそそるおそれのある遊技機の基準）、第19条（変更の承認の申請）
審査基準：
標準処理期間：別紙のとおり
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考： 法令の定め解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12の8及び第17の8を参照すること。

別紙

遊技機の増設、交替その他の変更の承認については、変更する遊技機により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

12日（うち経由機関における期間8日）

ただし、申請に係る遊技機が、風俗営業等適正化法第20条第2項の認定を受けたもの又は同条第4項の検定を受けた型式に属するもののみである場合に限る。

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第31条の22（第31条の23において準用する第4条第3項の規定の適用がない場合に限る。）
処分の概要：特定遊興飲食店営業の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項及び第2項（許可の基準）、第31条の23において準用する第5条第1項（許可申請の手続） 風俗営業等適正化法施行令第22条（特定遊興飲食店営業の許可に係る営業所設置許容地域の指定に関する条例の基準） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第17条において準用する第1条（特定遊興飲食店営業の許可申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（許可申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第75条（特定遊興飲食店営業の営業所の技術上の基準）、第76条（ホテル等内適合営業所の基準）、第77条（特定遊興飲食店営業の許可申請の手続）
審査基準： ① 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。 ② 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第2項第3号 この規定に該当する場合は、管理者となるべき者を全く選任していない場合、管理者として選任した者が法の定める要件を満たしていない場合、選任しようとする者が当該営業所に勤務することが到底期待できない場合等である。
標準処理期間：別紙のとおり
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12及び第24を参照すること。

別紙

特定遊興飲食店営業の許可については、申請時期等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。

ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

55日（うち経由機関における期間40日）

ただし、申請が到達した時点において、当該申請に係る営業所が存在し、実地調査が可能な場合に限る。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の22（第31条の23において準用する第4条第3項の規定の適用がある場合に限る。）
処 分 の 概 要：特定遊興飲食店営業の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項、第2項及び第3項（許可の基準）、第31条の23において準用する第5条第1項（許可申請の手続） 風俗営業等適正化法施行令第23条において準用する第7条（法第31条の23において準用する第4条第3項の政令で定める事由） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第17条において準用する第1条（特定遊興飲食店営業の許可申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（許可申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第75条（特定遊興飲食店営業の営業所の技術上の基準）、第76条（ホテル等内適合営業所の基準）、第77条（特定遊興飲食店営業の許可申請の手続）
審 査 基 準： ① 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集团的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。 ② 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第2項第3号 この規定に該当する場合は、管理者となるべき者を全く選任していない場合、管理者として選任した者が法の定める要件を満たしていない場合、選任しようとする者が当該営業所に勤務することが到底期待できない場合等である。
標 準 処 理 期 間：別紙のとおり
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12及び第24を参照すること。

別紙

特定遊興飲食店営業の許可については、申請時期等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。

ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

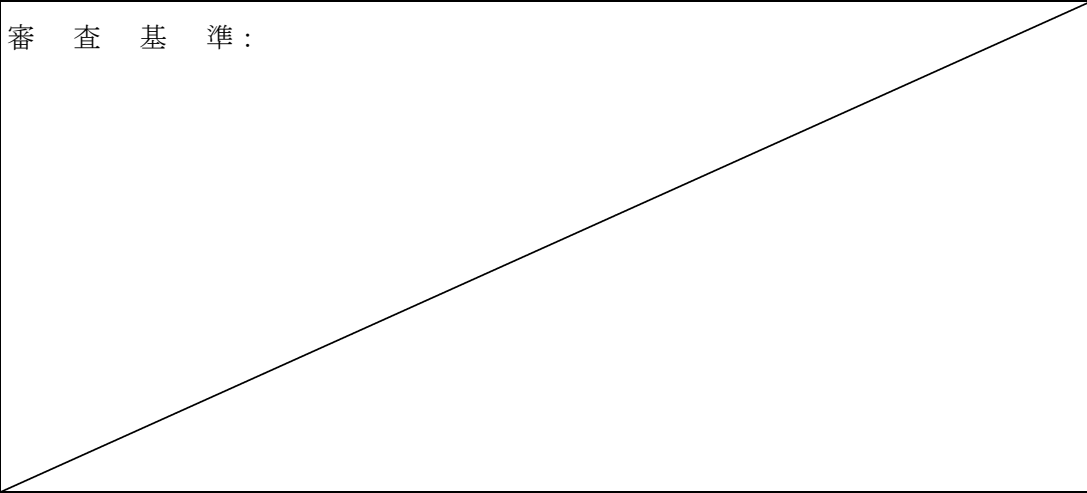
記

60日（うち経由機関における期間45日）

ただし、申請が到達した時点において、当該申請に係る営業所が存在し、実地調査が可能な場合に限る。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第5条第4項
処 分 の 概 要：許可証の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（許可証再交付申請書の提出）、第80条において準用する第12条（許可証の再交付の申請）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第7条第1項
処 分 の 概 要：特定遊興飲食店営業の相続の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第7条第3項において準用する第4条第1項（承認の基準） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（相続承認申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第81条において準用する第13条（特定遊興飲食店営業の相続の承認の申請）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。
標 準 処 理 期 間：30日（うち経由機関における期間22日）
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第13及び第25を参照すること。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第7条第5項
処 分 の 概 要：相続の承認による許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第85条において準用する第17条（許可証の書換えの手続）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第7条の2第1項
処 分 の 概 要：特定遊興飲食店営業者たる法人の合併の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第7条の2第2項において準用する第4条第1項（承認の基準） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（合併承認申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第82条において準用する第14条（特定遊興飲食店営業者たる法人の合併の承認の申請）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。
標 準 処 理 期 間：35日（うち経由機関における期間25日）
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第14及び第25を参照すること。

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第31条の23において準用する第7条の2第3項において準用する第7条第5項
処分の概要：法人の合併による許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第85条において準用する第17条（許可証の書換えの手続）
審査基準：
標準処理期間：14日
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第7条の3第1項
処 分 の 概 要：特定遊興飲食店営業者たる法人の分割の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第7条の3第2項において準用する第4条第1項（承認の基準） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（分割承認申請書の提出）、第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第83条において準用する第15条（特定遊興飲食店営業者たる法人の分割の承認の申請）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。
標 準 処 理 期 間：35日（うち経由機関における期間25日）
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第15及び第25を参照すること。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第7条の3第3項において準用する第7条第5項
処 分 の 概 要：法人の分割による許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第85条において準用する第17条（許可証の書換えの手続）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第31条の23において準用する第9条第1項
処分の概要：営業所の構造又は設備の変更の承認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第3条第2項（公安委員会が付した条件）、第31条の23において準用する第4条第2項第1号（構造及び設備の技術上の基準）、第31条の23において準用する第9条第2項（承認の基準） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第17条において準用する第1条第1号～第3号（変更承認申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（変更承認申請書の提出）、第75条（特定遊興飲食店営業の営業所の技術上の基準）、第87条（変更の承認の申請）
審査基準：
標準処理期間：別紙のとおり
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考： 法令の定め of 解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第12の8、第17の1、第24の2及び第27の1を参照すること。

別紙

営業所の構造又は設備の変更の承認については、変更対象の規模等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

申請に係る営業所の実態調査を行った日から10日（うち経由機関における期間7日）

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第9条第4項
処 分 の 概 要：許可証の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第5条第1項（許可の申請）、 第31条の23において準用する第9条第3項第1号（許可証の記載事項の変更の届出）、 第31条の23において準用する第9条第4項（許可証の書換え） 風俗営業等適正化法施行規則第1条（書換え申請書の提出）、第90条において準用する第17条（許可証の書換えの手続）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第10条の2第1項
処 分 の 概 要：特例特定遊興飲食店営業者の認定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第10条の2第2項（認定申請の手続） 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令第21条において準用する第5条（特例特定遊興飲食店営業者の認定申請書の添付書類） 風俗営業等適正化法施行規則第92条において準用する第24条（特定遊興飲食店営業者の認定の基準）、第93条（特例特定遊興飲食店営業者の認定申請の手続）
審 査 基 準： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第10条の2第1項第2号「受けるべき事由が現に」ある場合とは、いまだ処分をするには至っていないものの、処分をするに足りる事由を当該公安委員会が認知していることをいい、例えば、処分に係る聴聞又は弁明の機会の付与の手続の前又はその途中で認定の申請がなされた場合等が当たる。
標 準 処 理 期 間：別紙のとおり
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考： 法令の定め解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日 警察庁生活安全局）第16及び第26を参照すること。

別紙

特例特定遊興飲食店営業者の認定については、認定対象の営業所の規模等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできない。

ただし、その目安となる期間を下記のとおり定める。

記

申請に係る営業所の実態調査を行った日から30日(うち経由機関における期間23日)

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第31条の23において準用する第10条の2第5項
処分の概要：認定証の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 風俗営業等適正化法施行規則第1条（認定証再交付申請書の提出）、第94条第3項において準用する第12条（認定証の再交付の申請）
審査基準：
標準処理期間：14日
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法施行規則
根 拠 条 項：第45条
処 分 の 概 要：店舗型性風俗特殊営業届出確認書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法施行規則
根 拠 条 項：第55条第2項において準用する第45条
処 分 の 概 要：無店舗型性風俗特殊営業届出確認書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法施行規則
根 拠 条 項：第61条第2項において準用する第45条
処 分 の 概 要：映像送信型性風俗特殊営業届出確認書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法施行規則
根 拠 条 項：第66条第2項において準用する第45条
処 分 の 概 要：店舗型電話異性紹介営業届出確認書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：風俗営業等適正化法施行規則
根拠条項：第72条第2項において準用する第45条
処分の概要：無店舗型電話異性紹介営業届出確認書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め：
審査基準：
標準処理期間：14日
申請先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第4条第1項
処 分 の 概 要：銃砲等又は刀剣類の所持の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項、第4条第3項（許可）、第4条の2（許可の申請）、第5条（許可の基準）、第5条の2（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例） 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第1条（産業の用途に供するため必要な銃砲）、第2条（銃砲等の所持が許可される試験又は研究）、第3条（拳銃等の所持が許可される運動競技会等）、第4条（運動競技用信号銃等の所持が許可される運動競技会等）、第5条（指導用空気銃の所持が許可される運動競技会）、第7条（空気銃の所持が許可される18歳未満の射撃競技選手に係る運動競技会等）、第8条（銃砲等又は刀剣類の適正な取扱いに支障を及ぼすおそれがある病気）、第9条（銃砲等の構造又は機能の基準）、第10条（猟銃等講習会の講習課程修了者と同等以上の知識を有する者）、第11条（猟銃の所持が許可される20歳未満の者についての推薦）、第12条（人の生命又は身体を害する罪等）、第13条（現に所持している猟銃と同種類の猟銃の所持が許可される射撃競技選手に係る射撃競技等）、第14条（猟銃の所持の許可の基準の特例）、第15条（ライフル銃の所持が許可される射撃競技選手に係るライフル射撃競技等）、第16条（指導用空気拳銃の所持が許可される射撃競技指導員に係る運動競技会等）、第16条の2（クロスボウ講習会の講習課程修了者と同等以上の知識を有する者） 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第9条（申請書の様式等）、第10条（申請書に添付する医師の診断書）、第11条（申請書の添付書類）、第19条（猟銃又は空気銃の構造又は機能の基準） 銃砲刀剣類所持等取締法第四条第一項第四号に規定する政令で定める者が行う推薦の数を定める規則 猟銃の口径の長さの特例に関する規則 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第二条第二号の銃砲の範囲を定める命令
審 査 基 準：別紙のとおり
標 準 処 理 期 間：35日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準：

1 所持目的

(1) 銃砲刀剣類所持等取締法（以下「法」という。）第4条第1項各号の「用途に供するため」とは、当該用途に供しようという主観的意図の具備にとどまらず、当該用途に供することの適法性、実現可能性等も伴うものであることを要する。

したがって、例えば次のような場合は、許可されない。

- 当該用途に係る業務等が他の法令等により許されない場合
- 申請者が当該用途に係る業務等に携わることが他の法令等により許されない場合
- 当該用途に係る業務等の実施計画が具体化していない場合
- 標的射撃の用途に係るクロスボウの所持許可申請において、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第82条の4の基準を満たす危害予防上必要な措置が執られている場所を確保する具体的計画がないなど、当該用途での使用が具体化していない場合

(2) 法第4条第1項第9号の「これに類する催し」とは、申請に係る催しが博覧会と同様、期間を限って開催されるものであること、公開性を有するものであること等を必要とする趣旨である。

(3) 法第4条第1項第10号の「これに類する施設」とは、申請に係る施設が博物館と同様、常設的なものであること、公開性を有するものであること等を必要とする趣旨である。

2 物的基準

許可申請に係る銃砲等又は刀剣類が、法定の欠格要件に該当しないものであるほか、1(1)との関係上、当該用途に供するための機能が備わっており、かつ、当該用途に供する上で不必要に過大な機能が備わっていない等、当該用途に供することが、社会通念上許容されるものであることを必要とする。

3 人的基準

法定の欠格事由のうち、

(1) 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。

(2) 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。

注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。

注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。

(3) 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けようとする者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けようとする者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。

(4) 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができること認められる場合に限り、許可するものとする。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第4条の4第1項
処 分 の 概 要：許可に係る銃砲等又は刀剣類の確認
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条の4第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第17条第1項（確認の手続）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：1日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

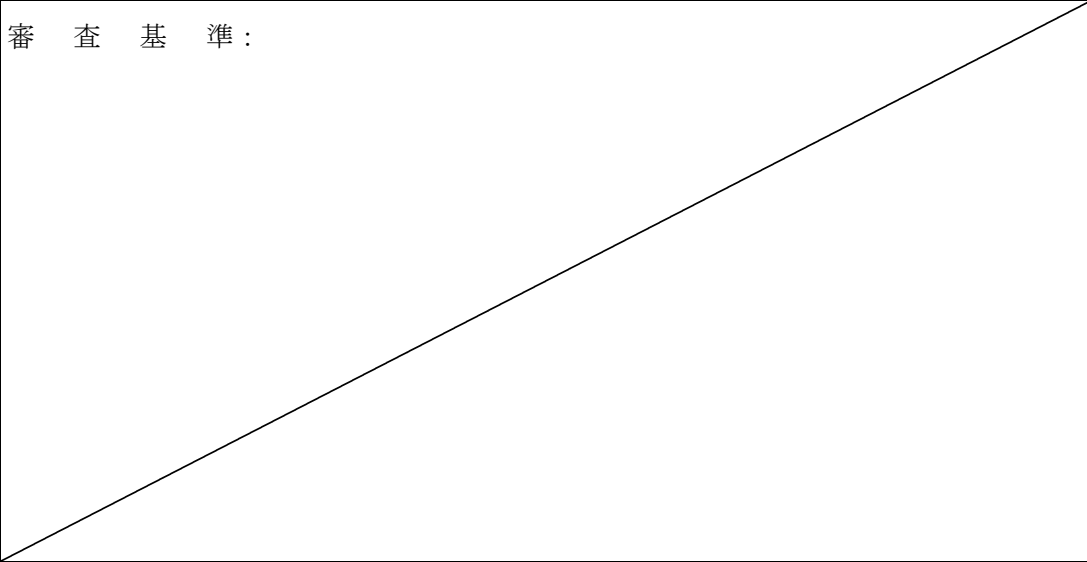
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第5条の3第3項
処分の概要：猟銃等講習会の講習修了証明書の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）
審査基準：
標準処理期間：3日（書換えにあつては1日）
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

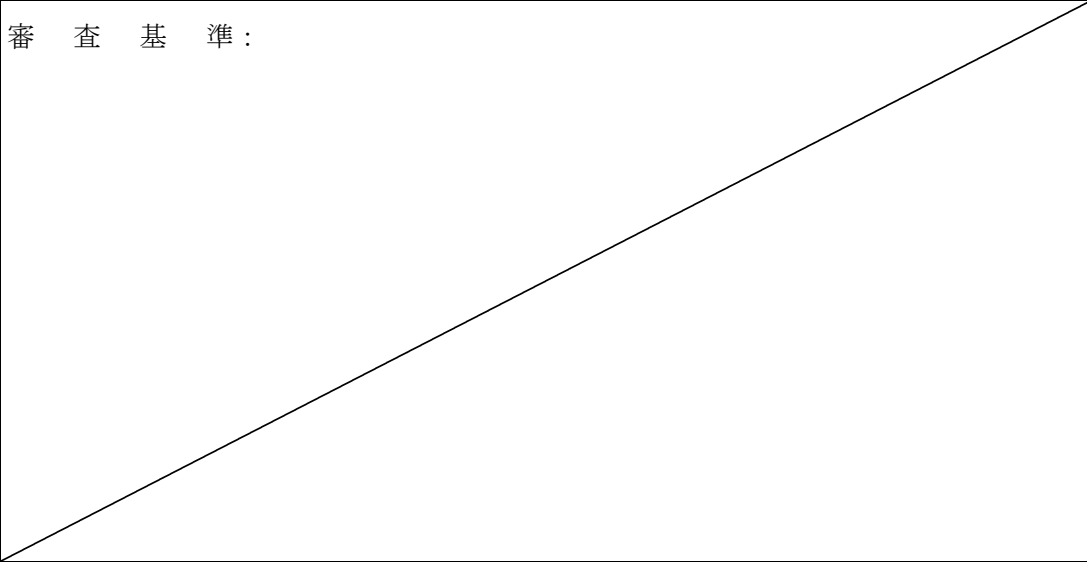
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第5条の3の2第3項
処分の概要：クロスボウ講習会の講習修了証明書の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3の2第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）
審査基準： 
標準処理期間：3日（書換えにあつては1日）
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

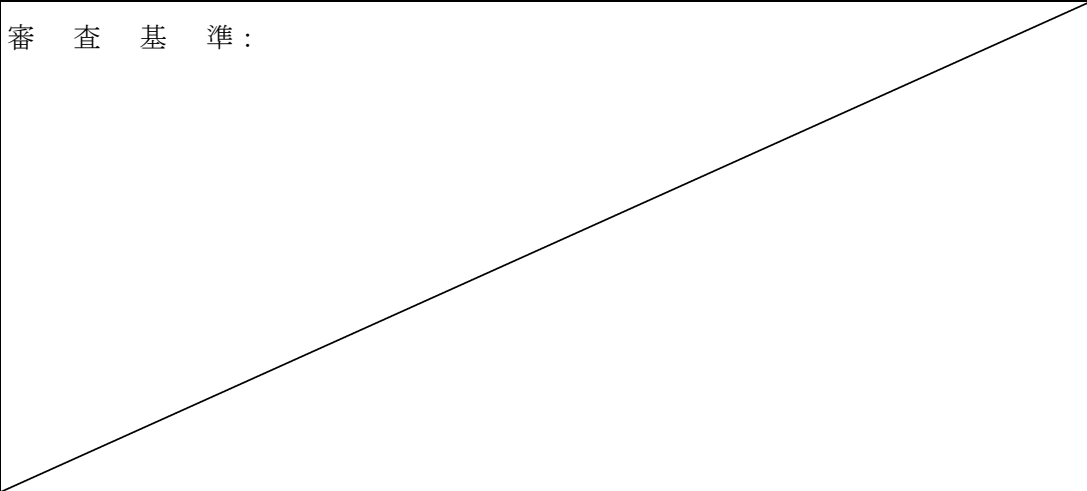
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第5条の4第3項
処分の概要：技能検定合格証明書の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項（猟銃及び空気銃の取扱いに関する講習会）、第5条の4第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）、第25条（合格証明書の書換え又は再交付の申請）
審査基準： 
標準処理期間：3日（書換えにあつては1日）
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第5条の5第3項
処 分 の 概 要：技能講習修了証明書の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項（猟銃及び空気銃の取扱いに関する講習会）、第5条の5第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）、第29条（技能講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：3日（書換えにあつては1日）
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

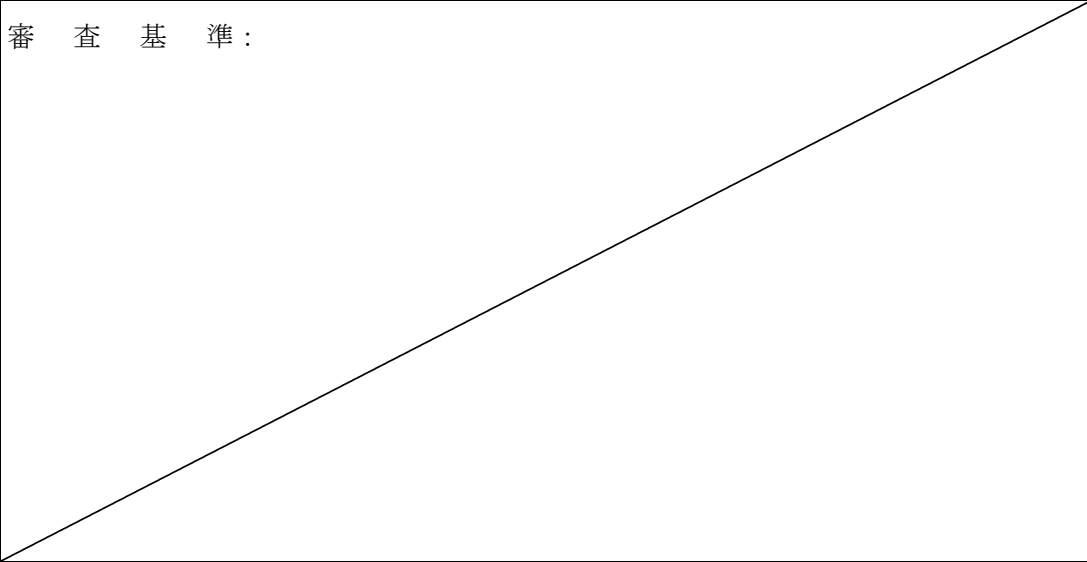
審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第6条第1項
処 分 の 概 要：国際競技に参加する外国人に対する所持許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条の2（第2項を除く。）（許可の申請）、第6条第1項・第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第9条（申請書の様式等）、第11条（申請書の添付書類）
審 査 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法第6条第1項中「銃砲等又は刀剣類を使用する国際競技」とは、オリンピック競技大会、アジア競技大会、世界射撃選手権大会、近代五種競技世界選手権大会等国際的な規模で開催される運動競技会における銃砲等又は刀剣類を使用する競技をいうが、おおむね次のような基準によって国際競技であるか否かを決定する。 ① 競技に参加する競技者が、その競技種目に関し全国を統括している競技団体の責任の下に参加するものであること ② 日本国がその競技に参加するものであること
標 準 処 理 期 間：14日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第7条第2項
処分の概要：許可証の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第7条第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第32条（許可証の書換への申請）、第33条（許可証の再交付の申請）
審査基準： 
標準処理期間：5日（書換えにあつては3日）
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第7条の3第1項
処分の概要：猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の更新
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条の2（許可の申請）、第5条第1項第2号～第18号、第2項～第5項（許可の基準）、第5条の2（第6項を除く。）（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第7条の3第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第8条（銃砲等又は刀剣類の適正な取扱いに支障を及ぼすおそれがある病気）、第9条（銃砲等の構造又は機能の基準）、第10条（猟銃等講習会の講習課程修了者と同等以上の知識を有する者）、第11条（猟銃の所持が許可される20歳未満の者についての推薦）、第12条（人の生命又は身体を害する罪等）、第13条（現に所持している猟銃と同種類の猟銃の所持が許可される射撃競技選手に係る射撃競技等）、第14条（猟銃の所持の許可の基準の特例）、第15条（ライフル銃の所持が許可される射撃競技選手に係るライフル射撃競技等）、第16条の2（クロスボウ講習会の講習課程修了者と同等以上の知識を有する者） 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第9条（申請書の様式等）、第10条（申請書に添付する医師の診断書）、第11条（申請書の添付書類）、第19条（猟銃又は空気銃の構造又は機能の基準）、第34条（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの所持の許可の更新の手続） 猟銃の口径の長さの特例に関する規則 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則
審査基準：別紙のとおり
標準処理期間：定めない。銃砲刀剣類所持等取締法第7条の3及び同法施行規則第34条の規定による。
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準：

法定の人的欠格事由のうち、

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けた者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合に限り、許可を更新するものとする。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の2第1項
処 分 の 概 要：指定射撃場の指定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項（許可の基準）、第5条の2第2項第2号・第3号（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第9条の2第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続） 指定射撃場の指定に関する内閣府令第2条（射撃を行う銃砲の種類による指定射撃場の種類）、第3条（指定射撃場の種類ごとの区分）、第4条（位置に関する基準）、第5条（構造設備の基準）、第6条（設置者の基準）、第6条の2（管理者の基準）、第8条・第9条（指定射撃場の管理方法の基準）、第10条（申請の手続） 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則
審 査 基 準：別紙のとおり
標 準 処 理 期 間：35日
申 請 先：射撃場の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：射撃場の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準：

- 1 設置者及び管理者に係る法定の人的欠格事由のうち、
 - (1) 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
 - (2) 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。

注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。

注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
 - (3) 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けた者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 2 指定射撃場の指定に関する内閣府令（昭和37年総理府令第46号）第6条の2第2号の規定に該当する者とは、射撃を行おうとする者の銃砲や実包が、指定に係る種類の銃砲及びその銃砲に使用する実包であるか否かの識別、当該銃砲への実包の正しい装填手順の確認等ができるなど、射撃場の適正な管理に必要な銃砲と実包に関する知識を有している者をいう。
- 3 同府令第6条の2第3号の規定に該当する者とは、指定に係る種類の銃砲の射撃に習熟し、かつ適正な射撃動作に関する知識等射撃中の危害防止のために必要な知識を有している者をいう。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の3第1項
処 分 の 概 要：猟銃等射撃指導員の指定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第12条（推薦等）、第42条（猟銃等射撃指導員の基準）、第43条（射撃指導員の指定の申請の手続）
審 査 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条第1項各号について、面接、試験、関係公益法人からの推薦等の方法により審査を行い、全てに適合していれば指定を行う。 なお、同規則に定める猟銃等射撃指導員の指定の基準中 (1)「銃砲、火薬類及び狩猟に関する法令」とは、銃砲刀剣類所持等取締法、武器等製造法、火薬類取締法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法律、これらに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の処分を指す。 (2)「相当な人格識見」とは、猟銃等の射撃に関するものにとどまらず、社会生活全般におけるそれを指す。 (3)「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手方の個別具体的事案に即して指導可能な程度に知識、技能を有するという趣旨である。
標 準 処 理 期 間：35日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第9条の3の2第1項
処分の概要：クロスボウ射撃指導員の指定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第42条の2（クロスボウ射撃指導員の基準）、第43条（射撃指導員の指定の申請の手続）
審査基準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2各号について、面接、試験等の方法により審査を行い、全てに適合していれば指定を行う。 なお、同規則に定めるクロスボウ射撃指導員の指定の基準中 （1）「クロスボウに関する法令」とは、銃砲刀剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法律、これらに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の処分を指す。 （2）「相当な人格識見」とは、クロスボウの射撃に関するものにとどまらず、社会生活全般におけるそれを指す。 （3）「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手方の個別具体的事案に即して指導可能な程度に知識、技能を有するという趣旨である。
標準処理期間：35日
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の4第1項
処 分 の 概 要：教習射撃場の指定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の4第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第47条（教習射撃場の管理者及び管理方法の基準）、第49条（教習射撃指導員の基準）、第50条（教習射撃場の指定の申請の手続）
審 査 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第47条第1号の「必要な知識」とは、教習射撃場の管理に必要な法令、当該射撃場の指定に係る種類の銃砲及びその実包並びにその射撃動作等に関する知識をいい、「経験」とは、射撃場の運営業務、射撃、射撃指導等の経験をいう。
標 準 処 理 期 間：30日
申 請 先：射撃場の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：射撃場の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第9条の5第2項
処分の概要：射撃教習を受ける資格の認定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条の2（許可の申請）、第5条第1項第2号～第18号、同第5項（許可の基準）、第5条の2第1項・第2項・第4項・第5項（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第5条の4第1項（技能検定）、第9条の5第2項・第4項 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第8条（銃砲等又は刀剣類の適正な取扱いに支障を及ぼすおそれがある病気）、第10条（猟銃等講習会の講習課程修了者と同等以上の知識を有する者）、第11条（猟銃の所持が許可される20歳未満の者についての推薦）、第12条（人の生命又は身体を害する罪等）、第15条（ライフル銃の所持が許可される射撃競技選手に係るライフル射撃競技等） 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第9条（申請書の様式等）、第10条（申請書に添付する医師の診断書）、第11条（申請書の添付書類） 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則
審査基準：別紙のとおり
標準処理期間：30日
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準：

法定の欠格事由のうち、

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けた者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合に限り、射撃教習を受ける資格を認定するものとする。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の5第4項
処 分 の 概 要：教習資格認定証の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項（猟銃及び空気銃の取扱いに関する講習会）、第9条の5第4項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）、第56条（教習資格認定証の書換え又は再交付の申請）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：3日（書換えにあつては1日）
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の9第1項
処 分 の 概 要：練習射撃場の指定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の9第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第47条第1号・第2号ハ（教習射撃場の管理者及び管理方法の基準）、第63条（練習射撃場の管理者及び管理方法の基準）、第50条（教習射撃場の指定の申請の手続）、第64条（練習射撃場の指定の申請の手続）
審 査 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第47条第1号の「必要な知識」とは、練習射撃場の管理に必要な法令、当該射撃場の指定に係る種類の銃砲及びその実包並びにその射撃動作等に関する知識をいい、「経験」とは、射撃場の運営業務、射撃、射撃指導等の経験をいう。
標 準 処 理 期 間：30日
申 請 先：射撃場の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：射撃場の所在地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第9条の10第2項
処分の概要：射撃練習を行う資格の認定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条の2（許可の申請）、第5条第1項・第5項（許可の基準）、第5条の2第1項・第2項・第4項・第5項（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第5条の4第1項（技能検定）、第9条の10第2項・第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第3条（拳銃等の所持が許可される運動競技会等）、第7条（空気銃の所持が許可される18歳未満の射撃競技選手に係る運動競技会等）、第8条（銃砲等又は刀剣類の適正な取扱いに支障を及ぼすおそれがある病気）、第10条（猟銃等講習会の講習課程修了者と同等以上の知識を有する者）、第11条（猟銃の所持が許可される20歳未満の者についての推薦）、第12条（人の生命又は身体を害する罪等）、第15条（ライフル銃の所持が許可される射撃競技選手に係るライフル射撃競技等） 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第9条（申請書の様式等）、第10条（申請書に添付する医師の診断書）、第11条（申請書の添付書類） 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則
審査基準：別紙のとおり
標準処理期間：30日
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

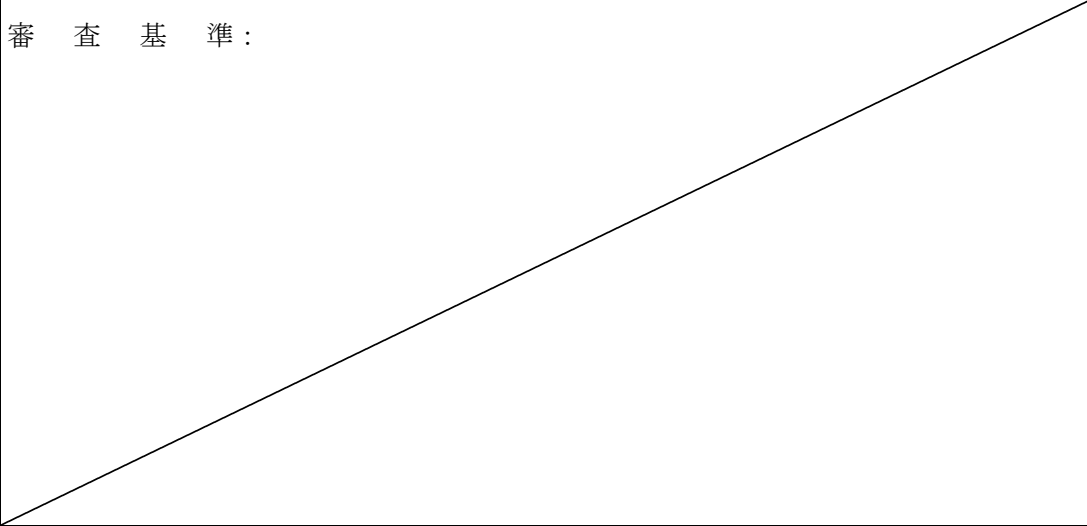
審 査 基 準：

法定の欠格事由のうち、

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けた者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合に限り、射撃練習を受ける資格を認定するものとする。

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の10第3項
処 分 の 概 要：練習資格認定証の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項（猟銃及び空気銃の取扱いに関する講習会）、第9条の10第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）、第70条（練習資格認定証の書換え又は再交付の申請）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：3日（書換えにあつては1日）
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の13第1項
処 分 の 概 要：年少射撃資格の認定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項第2号～第18号（許可の基準）、第9条の13第1項、第9条の14第1項（年少射撃資格の認定のための講習会） 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第28条（年少射撃資格の認定を受けて空気銃を所持することができる射撃競技選手に係る運動競技会等） 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第75条（年少射撃資格認定申請書）、第76条（年少射撃資格認定申請書の添付書類等） 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則
審 査 基 準：別紙のとおり
標 準 処 理 期 間：30日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準：

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けた者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第9条の13第1項の「猟銃等射撃指導員の監督を受けて当該許可に係る空気銃を所持しようとする者」とは、監督を行おうとする猟銃等射撃指導員が確定していることを要する。

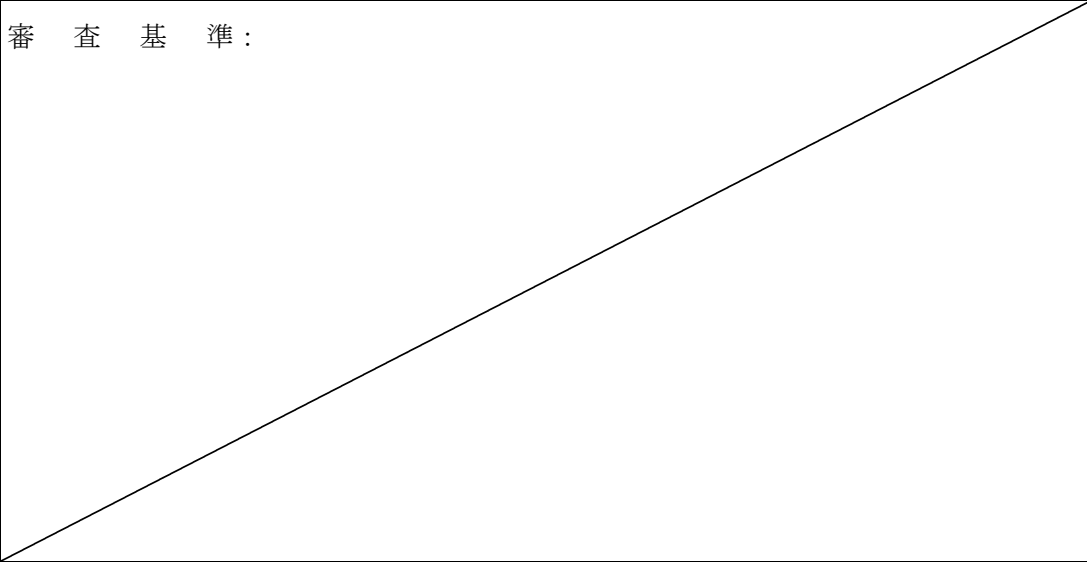
審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の13第3項
処 分 の 概 要：年少射撃資格認定証の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第7条第2項（許可証）、第9条の13第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第32条（許可証の書換えの申請）、第78条（年少射撃資格認定証の書換えの申請）、第79条（年少射撃資格認定証の再交付の申請）
審 査 基 準：
標 準 処 理 期 間：5日（書換えにあつては3日）
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の14第3項
処 分 の 概 要：年少射撃資格講習修了証明書の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項（猟銃及び空気銃の取扱いに関する講習会）、第9条の14第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第22条（講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）、第82条（年少射撃資格講習修了証明書の書換え又は再交付の申請）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：3日（書換えにあつては1日）
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

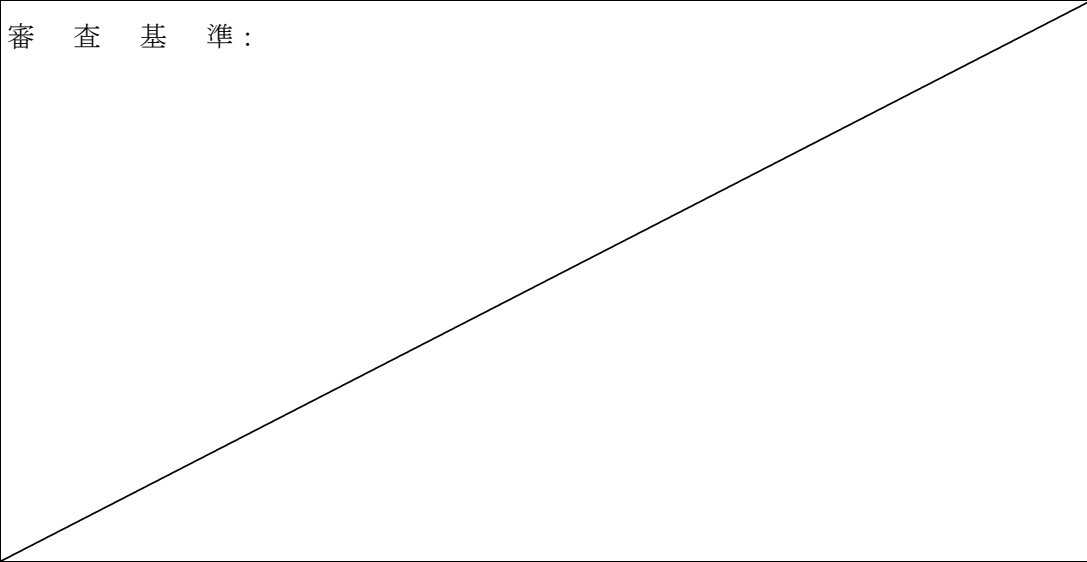
法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の16第1項
処 分 の 概 要：クロスボウ射撃資格の認定
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条の2（許可の申請）、第5条第1項・第5項（許可の基準）、第9条の16第1項・第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第8条（銃砲等又は刀剣類の適正な取扱いに支障を及ぼすおそれがある病気） 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第9条（申請書の様式等）、第10条（申請書に添付する医師の診断書）、第11条（申請書の添付書類） 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則
審 査 基 準：別紙のとおり
標 準 処 理 期 間：30日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審 査 基 準：

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持の許可を受けた者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合に限り、クロスボウ射撃資格を認定するものとする。

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法
根拠条項：第9条の16第2項
処分の概要：クロスボウ射撃資格認定証の書換え又は再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条の3第3項（猟銃及び空気銃の取扱いに関する講習会）、第9条の16第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第82条の3（クロスボウ射撃資格認定証の書換え又は再交付の申請）
審査基準： 
標準処理期間：3日（書換えにあつては1日）
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：銃砲刀剣類所持等取締法施行令
根拠条項：第24条第2項
処分の概要：国際競技に参加する外国人に対する許可の期間
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 銃砲刀剣類所持等取締法施行令第24条第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第30条（許可の期間の延長）
審査基準： 当該外国人の参加に係る国際競技の日程変更等の理由により、許可の期間を超えて当該銃砲等又は刀剣類を所持する必要がある場合に、許可の期間を延長する。
標準処理期間：2日
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備考：

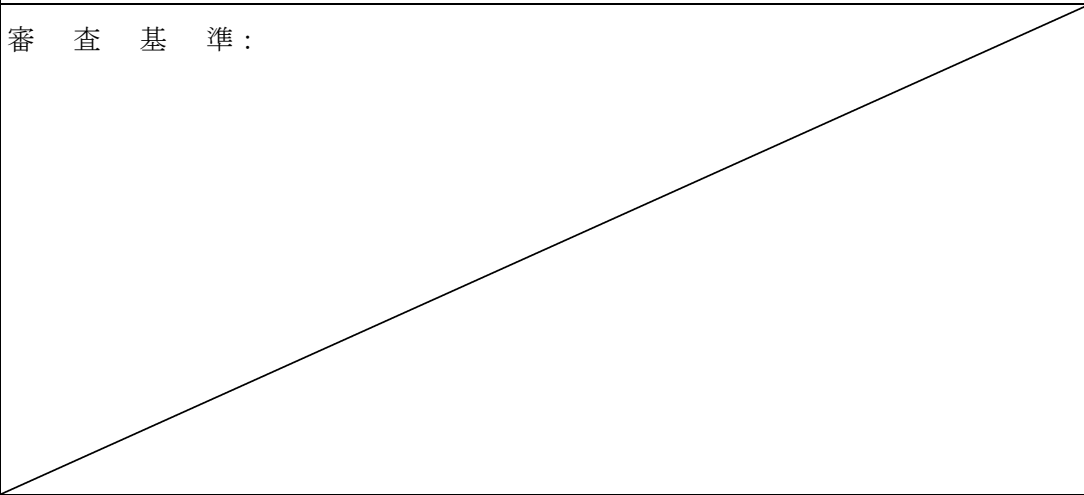
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：火薬類取締法
根拠条項：第17条第1項
処分の概要：猟銃用火薬類等の譲渡又は譲受の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 火薬類取締法第17条第1項第1号～第3号、第5号～第6号、同第2項（譲渡又は譲受の許可）、同第50条の2（猟銃用火薬類の特則） 火薬類取締法施行令第12条（政令で定める火薬） 猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令第2条（譲渡の許可の申請）、同第3条（譲受けの許可の申請）、同第4条（無許可譲受数量）、同第13条（申請及び届出の手続き）
審査基準： 銃砲を所持又は輸入しない者が実包を譲受けようとする場合等火薬類の譲渡又は譲受の目的が明らかでないときや火薬類を犯罪に使用するおそれがあるとき等、当該火薬類に係る事件、事故等が発生する危険性が認められる場合は許可しない。
標準処理期間：3日
申請先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

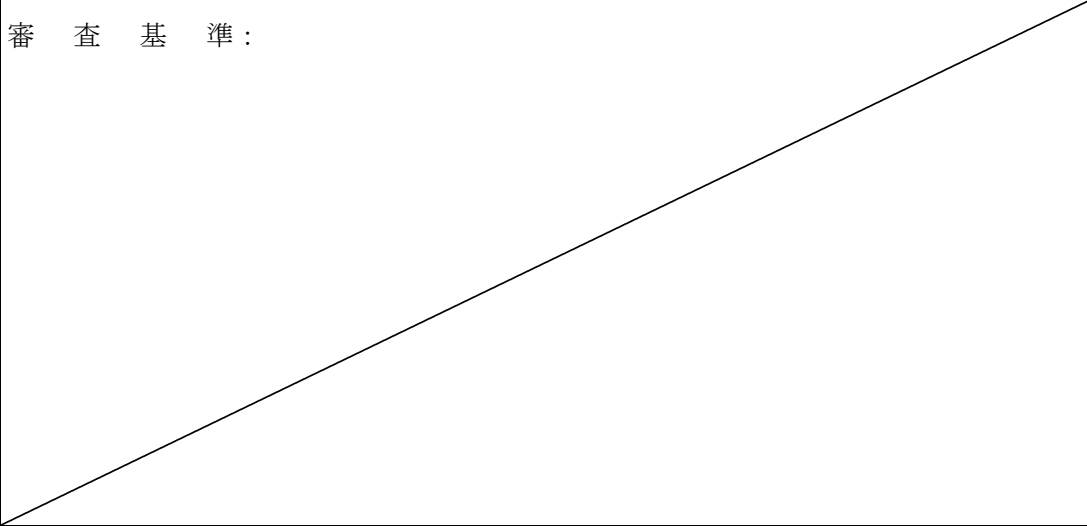
審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：火薬類取締法
根 拠 条 項：第17条第8項
処 分 の 概 要：譲渡許可証又は譲受許可証の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 火薬類取締法第17条第8項（譲渡許可証等の再交付の申請）、同第50条の2（猟銃用火薬類等の特則） 火薬類取締法施行令第12条（政令で定める火薬） 猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令第7条第1項（譲渡許可証等の再交付の申請）、同第13条（申請及び届出の手続）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：1日
申 請 先：許可証を交付した警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：許可証を交付した警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：火薬類取締法
根拠条項：第19条第4項
処分の概要：運搬証明書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 火薬類取締法第17条第8項、同第19条第4項（運搬証明書の再交付の申請） 火薬類の運搬に関する内閣府令第5条（運搬証明書の再交付の申請）、同第8条（運搬の届出等の経由）
審査基準： 
標準処理期間：1日
申請先：運搬証明書を交付した警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問い合わせ先：運搬証明書を交付した警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：火薬類取締法
根 拠 条 項：第24条第1項
処 分 の 概 要：猟銃用火薬類等の輸入の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 火薬類取締法第24条第1項・第2項（猟銃用火薬類等の輸入の許可）、同第50条の2（猟銃用火薬類等の特則） 火薬類取締法施行令第12条（政令で定める火薬） 猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令第3条第2項・第3項、同第9条第1項（輸入の許可の申請）、同第13条（申請及び届出の手續）
審 査 基 準： 銃砲を所持又は輸入しない者が実包を輸入しようとする場合等火薬類の輸入の目的が明らかでないときや火薬類を犯罪に使用のおそれがあるとき等、当該火薬類に係る事件、事故等が発生する危険性が認められる場合は許可しない。
標 準 処 理 期 間：5日
申 請 先：猟銃用火薬類等の陸揚地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

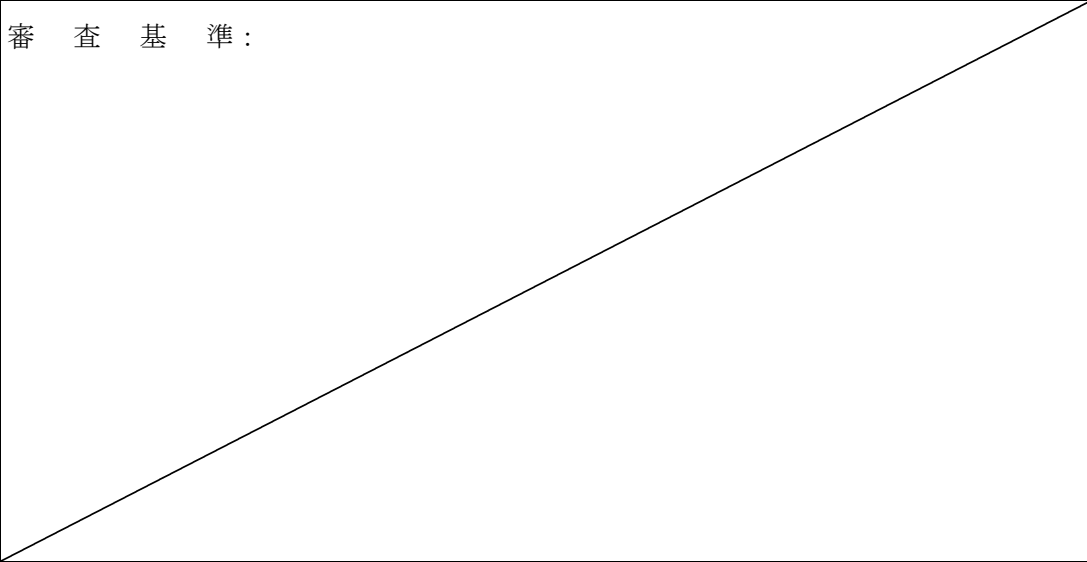
審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：火薬類取締法
根 拠 条 項：第25条第1項
処 分 の 概 要：猟銃用火薬類等の消費の許可
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 火薬類取締法第25条第1項・第2項（猟銃用火薬類等の消費の許可）、同第50条の2（猟銃用火薬類等の特則）、 火薬類取締法施行令第12条（政令で定める火薬） 猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令第3条第2項・第3項、同第11条（消費の許可の申請）、同第12条（無許可消費数量）、同第13条（申請及び届出の手續）
審 査 基 準： 当該火薬類の爆発又は燃焼が、 (1) 人の生命、身体又は財産に直接又は間接に危険を生じさせるおそれがあるとき (2) 他の法令で禁止されているとき 等公共の安全の維持に支障を及ぼすおそれがあるときは、許可しない。
標 準 処 理 期 間：5日
申 請 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
問 い 合 わ せ 先：あなたの住所地を管轄する警察署生活安全課又は刑事生活安全課
備 考：

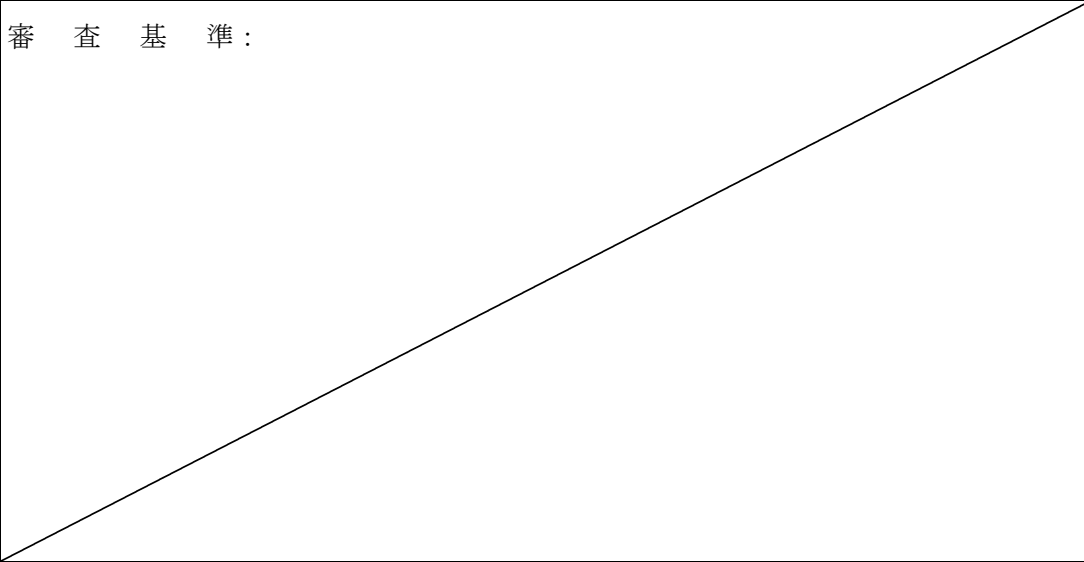
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律
根拠条項：第59条第9項
処分の概要：運搬証明書の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 核燃料物質等の運搬の届出等に関する内閣府令第5条（運搬証明書の記載事項の変更）
審査基準： 
標準処理期間：2日
申請先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
問い合わせ先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備考：

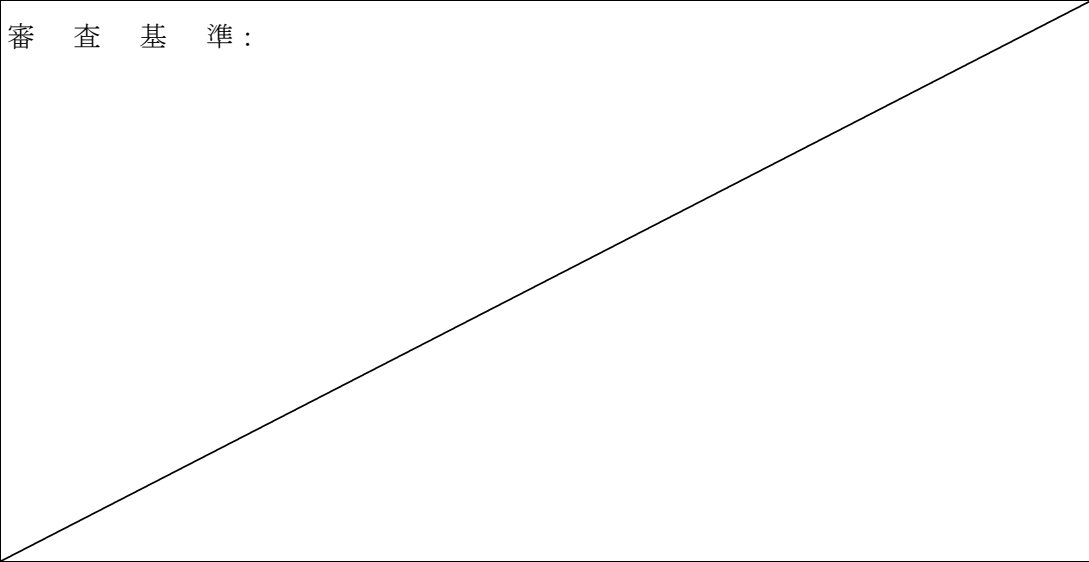
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律
根拠条項：第59条第10項
処分の概要：運搬証明書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 核燃料物質等の運搬の届出等に関する内閣府令第6条（運搬証明書の再交付）
審査基準： 
標準処理期間：2日
申請先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
問い合わせ先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備考：

審 査 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
根 拠 条 項：第21条
処 分 の 概 要：運搬証明書の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令第21条（運搬証明書の書換え）
審 査 基 準： 
標 準 処 理 期 間：2日
申 請 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

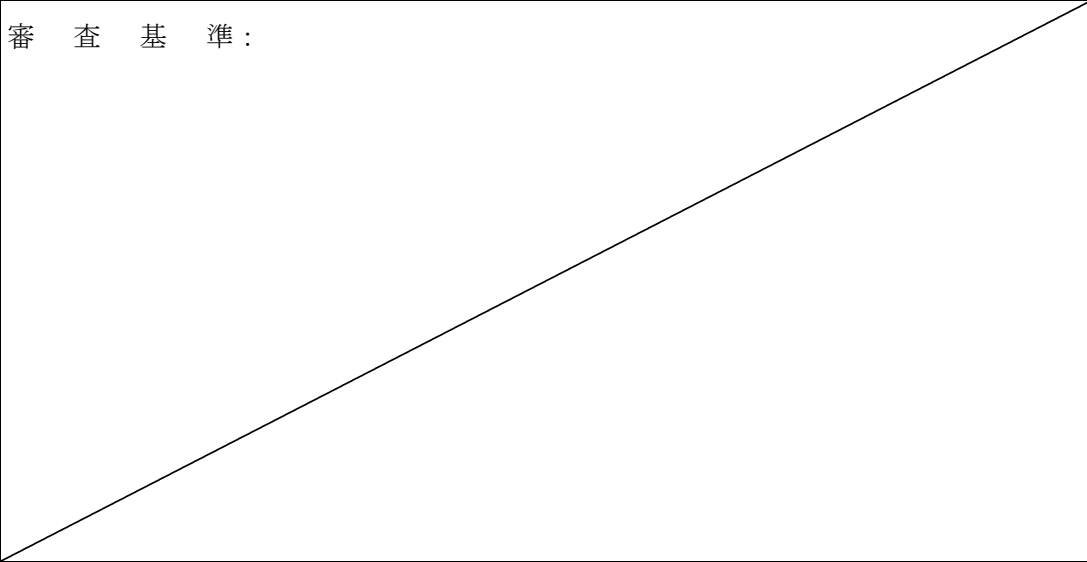
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
根拠条項：第22条
処分の概要：運搬証明書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令第22条（運搬証明書の再交付）
審査基準：
標準処理期間：2日
申請先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
問い合わせ先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備考：

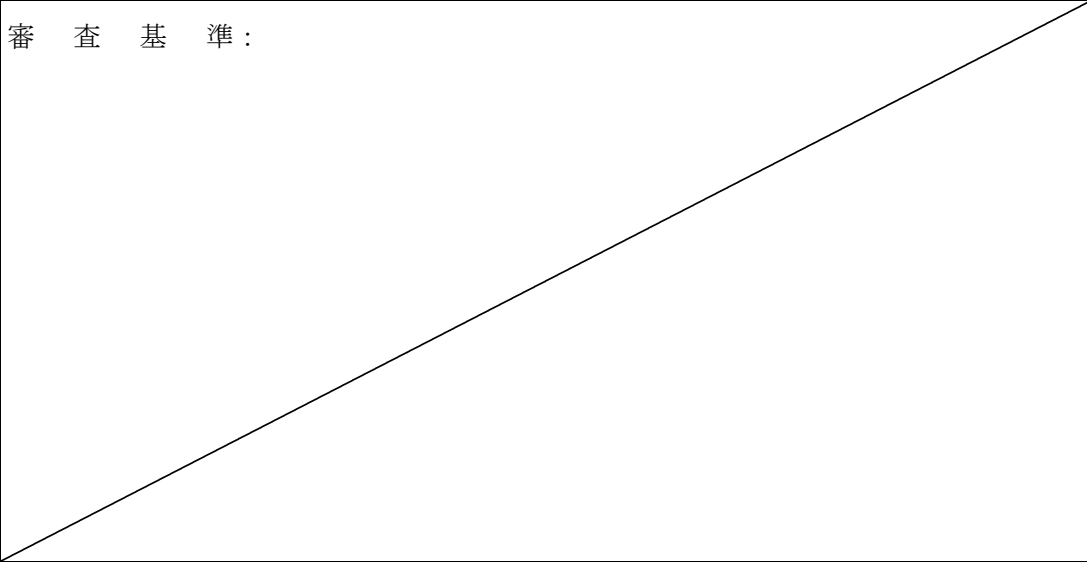
審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律施行令
根拠条項：第3条の2
処分の概要：運搬証明書の書換え
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 化学兵器の禁止及び特定物資の規制等に関する法律第17条第5項（運搬証明書の書換え）
審査基準： 
標準処理期間：2日
申請先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
問い合わせ先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備考：

審査基準

令和6年11月8日作成

法令名：化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律施行令
根拠条項：第3条の3
処分の概要：運搬証明書の再交付
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法令の定め： 化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律第17条第5項（運搬証明書の再交付）
審査基準： 
標準処理期間：2日
申請先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
問い合わせ先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第8条
処 分 の 概 要：風俗営業の許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第3条（許可）、第4条（許可の基準）、第7条（承認）、第7条の2（承認）、第7条の3（承認）
処 分 基 準： 風俗営業等適正化法第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明したときは、以下のように、速やかに是正、回復等することができ、かつ、現に是正、回復しようとしている場合等で悪意がない又はごく軽微な場合を除き、風俗営業の許可（承認）を取り消すこととする。 ・ 第4条第1項第9号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者の解任手続を進めているようなとき。
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第25条
処 分 の 概 要：風俗営業者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第26条第1項
処 分 の 概 要 : 風俗営業の許可の取消し、停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第26条第2項
処 分 の 概 要 : 飲食店営業の停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第29条
処 分 の 概 要：店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第30条第1項
処 分 の 概 要：店舗型性風俗特殊営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行令第17条（政令で定める重大な不正行為）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第30条第2項
処 分 の 概 要 : 店舗型性風俗特殊営業の廃止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 風俗営業等適正化法第28条第1項・第2項(店舗型性風俗特殊営業の禁止区域等)
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課(017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第30条第3項
処 分 の 概 要 : 浴場業営業等の停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の4第1項
処 分 の 概 要：無店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の5第1項
処 分 の 概 要：無店舗型性風俗特殊営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行令第18条（政令で定める重大な不正行為）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の5第2項
処 分 の 概 要：受付所営業の廃止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の3第2項、第28条第1項・第2項（受付所営業の禁止区域等）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の6第2項第1号
処 分 の 概 要：無店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の6第1項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の6第2項第2号
処 分 の 概 要：無店舗型性風俗特殊営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の6第1項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の6第2項第3号
処 分 の 概 要：受付所営業の廃止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の6第1項（処分移送通知書の送付）、第31条の3第2項、第28条第1項・第2項（受付所営業の禁止区域等）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の9第1項
処 分 の 概 要：映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の10
処 分 の 概 要：映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する年少者利用防止のための命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の8第3項・第4項（映像送信型性風俗特殊営業を営む者の年少者利用防止措置）
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の11第2項第1号
処 分 の 概 要：映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の11第1項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の11第2項第2号
処 分 の 概 要：映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する年少者利用防止のための命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の11第1項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の14
処 分 の 概 要：店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の15第1項
処 分 の 概 要：店舗型電話異性紹介営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行令第20条（政令で定める重大な不正行為）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の15第2項
処 分 の 概 要：店舗型電話異性紹介営業の廃止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の13第1項において準用する第28条第1項・第2項（店舗型電話異性紹介営業の禁止区域等）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の19第1項
処 分 の 概 要：無店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の20
処 分 の 概 要：無店舗型電話異性紹介営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行令第21条（政令で定める重大な不正行為）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の21第2項第1号
処 分 の 概 要：無店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の21第1項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の21第2項第2号
処 分 の 概 要：無店舗型電話異性紹介営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の21第1項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の23において準用する第8条
処 分 の 概 要：特定遊興飲食店営業の許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第31条の22（許可）、第31条の23において準用する第4条（第4項を除く。）（許可の基準）、第31条の23において準用する第7条（承認）、第31条の23において準用する第7条の2（承認）、第31条の23において準用する第7条の3（承認）
処 分 基 準： 風俗営業等適正化法第31条の23において準用する第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明したときは、以下のように、速やかに是正、回復等することができ、かつ、現に是正、回復しようとしている場合等で悪意がない又はごく軽微な場合を除き、特定遊興飲食店営業の許可（承認）を取り消すこととする。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第9号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者の解任手続を進めているようなとき。
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第31条の24
処 分 の 概 要：特定遊興飲食店業者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第31条の25第1項
処 分 の 概 要 : 特定遊興飲食店営業の許可の取消し、停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第31条の25第2項
処 分 の 概 要 : 飲食店営業の停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第34条第1項
処 分 の 概 要：飲食店営業者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第34条第2項
処 分 の 概 要 : 飲食店営業の停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 風俗営業等適正化法
根 拠 条 項 : 第35条
処 分 の 概 要 : 興行場営業の停止命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め :
処 分 基 準 : 別紙2のとおり
問 合 せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第35条の2
処 分 の 概 要：特定性風俗物品販売等営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第35条の4第1項
処 分 の 概 要：接客業務受託営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め：
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第35条の4第2項
処 分 の 概 要：接客業務受託営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法施行令第28条（政令で定める重大な不正行為）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第35条の4第4項第1号
処 分 の 概 要：接客業務受託営業を営む者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第35条の4第3項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙1のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：風俗営業等適正化法
根 拠 条 項：第35条の4第4項第2号
処 分 の 概 要：接客業務受託営業の停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 風俗営業等適正化法第35条の4第3項（処分移送通知書の送付）
処 分 基 準：別紙2のとおり
問 合 せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

別紙 1

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく 指示及び措置命令の基準

第 1 指示

1 指示の基準

- (1) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号。以下「法」という。）若しくはその他の法令又は法に基づく条例の規定に違反する行為（法第28条第1項（法第31条の13第1項において準用する場合を含む。）の規定及び同条第2項（法第31条の13第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づく条例の規定に違反する行為を除く。）が行われた場合は、善良の風俗若しくは清浄な風俗環境を害し、又は少年の健全な育成に障害を及ぼすおそれがないと明らかに認められるときを除き、法第25条、第29条、第31条の4第1項若しくは第31条の6第2項第1号、第31条の9第1項若しくは第31条の11第2項第1号、第31条の14、第31条の19第1項若しくは第31条の21第2項第1号、第31条の24、第34条第1項又は第35条の4第1項若しくは第4項第1号の規定に基づき、指示をするものとする。ただし、風俗営業若しくは特定遊興飲食店営業の許可を取り消し、又は店舗型性風俗特殊営業若しくは店舗型電話異性紹介営業の廃止を命ずる場合は指示を行わないこと。

なお、法に基づく処分又は法第3条第2項（法第31条の23において準用する場合を含む。）の規定に基づき付された条件に違反した場合は、営業停止等の対象であり、指示の対象ではないので留意すること。

- (2) 指示は、比例原則にのっとり行うこと。
- (3) 指示は、営業者に過大な負担を課さないものとする。
- (4) 指示の内容は、違反行為と関連性のあるものとする。
- (5) 指示は、1回の違反について1回行うものとする。

2 指示の手続

- (1) 指示を行う際には、聴聞及び弁明の機会の付与に関する規則（平成6年国家公安委員会規則第26号）第20条に規定する弁明通知書を交付し、営業者に対し弁明の機会を付与するものとする。ただし、技術的な基準に従うべきことを指示するときは、行政手続法（平成5年法律第88号）第13条第2項第3号の規定により弁明の機会の付与を要しない。
- (2) 指示は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則（昭和60年国家公安委員会規則第1号。以下「施行規則」という。）第

112条第1項の書面に不服申立てをすることができる旨を記載して行うこと。

3 指示の内容

- (1) 違反状態が解消されていない場合は、当該違反状態を解消するため必要な指示をするものとする。この場合において、当該違反が、指示後直ちに解消させるべきものであるが、それが困難なものであるときは、その態様に応じ、必要最小限度の猶予期間を設けるものとし、また、必要に応じ、違反状態を解消するための方法を盛り込むものとする。
- (2) 将来において類似の違反が行われることを防止するため必要な指示を行うものとする。
- (3) 状況に応じ、(1)及び(2)の指示を併せて行い、善良の風俗の保持等を図るものとする。

4 指示を行った後の措置

指示を行った後は、指示に違反していないかどうかを確認し、指示に違反している場合には、営業停止等の処分を行うこと。

第2 措置命令

1 措置命令の基準

- (1) 法第31条の8第3項又は第4項の規定に違反する行為が行われた場合は、法第31条の10又は第31条の11第2項第2号の規定に基づく命令（以下「措置命令」という。）をするものとする。
- (2) 措置命令は、比例原則にのっとり行うこと。
- (3) 措置命令は、営業者にとって過大な負担を課さないものとする。
- (4) 措置命令の内容は、違反行為と関連性のあるものとする。
- (5) 措置命令は、1回の違反について1回行うものとする。

2 措置命令の手続

- (1) 措置命令を行う際には、聴聞及び弁明の機会の付与に関する規則第20条に規定する弁明通知書を交付し、営業者に対し弁明の機会の付与するものとする。
- (2) 措置命令は施行規則第112条第1項の書面に不服申立てをすることができる旨を記載して行うこと。

3 措置命令の内容

第1の3に準じて行うこと。

4 措置命令を行った後の措置

措置命令を行った後は、措置命令に違反していないかどうかを確認すること。

別紙 2

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく営業停止命令等の基準

(用語の意義)

- 1 この基準における用語の意義は、次に掲げるとおりとする。
 - (1) 「取消し」とは、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号。以下「法」という。）第26条第1項又は第31条の25第1項の規定に基づき、風俗営業又は特定遊興飲食店営業の許可を取り消すことをいう。
 - (2) 「営業停止命令」とは、法第26条、第30条第1項若しくは第3項、第31条の5第1項、第31条の6第2項第2号、第31条の15第1項、第31条の20、第31条の21第2項第2号、第31条の25、第34条第2項、第35条、第35条の2又は第35条の4第2項若しくは第4項第2号の規定に基づき、風俗営業、飲食店営業、店舗型性風俗特殊営業、浴場業営業、興行場営業、旅館業、無店舗型性風俗特殊営業、店舗型電話異性紹介営業、無店舗型電話異性紹介営業、特定遊興飲食店営業、特定性風俗物品販売等営業又は接客業務受託営業の停止を命ずることをいう。
 - (3) 「営業廃止命令」とは、法第30条第2項、第31条の5第2項、第31条の6第2項第3号又は第31条の15第2項の規定に基づき、店舗型性風俗特殊営業、受付所営業又は店舗型電話異性紹介営業の廃止を命ずることをいう。
 - (4) 「指示処分」とは、法第25条、第29条、第31条の4第1項、第31条の6第2項第1号、第31条の14、第31条の19第1項、第31条の21第2項第1号、第31条の24、第34条第1項又は第35条の4第1項若しくは第4項第1号の規定に基づき、指示をすることをいう。
 - (5) 「法令違反行為」とは、法令（法に基づく条例を含む。）に違反し、若しくは法に基づく処分若しくは法第3条第2項（第31条の23において準用する場合を含む。以下同じ。）の規定に基づき付された条件に違反する行為又は法第30条第1項、第31条の5第1項、第31条の6第2項第2号、第31条の15第1項、第31条の20、第31条の21第2項第2号、第35条若しくは第35条の2に掲げる罪に当たる違法な行為（2において「法に掲げる罪に当たる違法な行為」という。）若しくは風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行令（昭和59年政令第319号。以下「令」という。）第17条、第18条、第20条、第21条若しくは第28条に定める重大な不正行為（以下「政令で定める重大な不正行為」という。）をいう。

(指示処分との関係)

- 2 風俗営業者、特定遊興飲食店営業者又は店舗型性風俗特殊営業、無店舗型性風俗特殊

営業、店舗型電話異性紹介営業、無店舗型電話異性紹介営業、飲食店営業若しくは接客業務受託営業を営む者に対する取消し、営業停止命令（法第26条第2項及び第31条の25第2項の規定に基づくものを除く。）又は営業廃止命令は、それぞれ当該処分を行うべき事由（以下「処分事由」という。）について指示処分を行い、当該指示処分に違反した場合に行うことを通常とする。ただし、法に基づく処分又は法第3条第2項の規定に基づき付された条件に違反した場合のほか、次のような場合は、指示処分を行わずに、直ちに取消し、営業停止命令又は営業廃止命令を行っても差し支えない。

- (1) 同種の処分事由に当たる法令違反行為であって悪質なもの（法に掲げる罪に当たる違法な行為及び政令で定める重大な不正行為を含む。）を短期間に繰り返し、又は指導や警告を無視する等指示処分によっては自主的に法令を遵守する見込みがないと認められる場合
- (2) 指示処分の期間中に、当該指示処分には違反していないが、当該指示処分の処分事由に係る法令違反行為と同種の法令違反行為を行った場合
- (3) 罰則の適用がある法令違反行為によって検挙された場合（起訴相当として送致した場合に限る。）
- (4) 短期20日以上 の量定に相当する処分事由（法に基づく条例の違反に係る処分事由であって各都道府県において短期20日以上 の量定が定められているものを含む。）に当たる法令違反行為が行われた場合
- (5) (1) から (4) までに掲げる場合のほか、法令違反行為の態様が悪質で、善良の風俗若しくは清浄な風俗環境を害し、又は少年の健全な育成に障害を及ぼすおそれがある重大な結果が生じた場合

（量定）

3 取消し又は営業停止命令（法第26条第2項、第30条第3項又は第31条の25第2項の規定に基づく場合を除く。）の量定（以下単に「量定」という。）の区分は、次のとおりとし、各処分事由に係る量定は、別表に定めるところによるものとする。

- (1) 風俗営業、特定遊興飲食店営業、飲食店営業、興行場営業、特定性風俗物品販売等営業又は接客業務受託営業
 - A 風俗営業及び特定遊興飲食店営業にあつては取消し。飲食店営業、興行場営業、特定性風俗物品販売等営業及び接客業務受託営業にあつては、6月の営業停止命令。
 - B 40日以上6月以下の営業停止命令。基準期間は、3月。
 - C 20日以上6月以下の営業停止命令。基準期間は、40日。
 - D 10日以上80日以下の営業停止命令。基準期間は、20日（別表の処分事由1(30)遊技機変更届出義務違反にあつては基準期間1月）。
 - E 5日以上40日以下の営業停止命令。基準期間は、14日。
 - F 5日以上20日以下の営業停止命令。基準期間は、7日。

G 営業停止命令を行わないもの（指示処分に限り、当該指示処分に違反した場合に当該指示処分違反を処分事由として営業停止命令を行う。）

H 5日以上80日以下の営業停止命令（別表の処分事由1(31)及び6(26)条例の遵守事項違反については、各都道府県において5日以上80日以下の範囲内で定める量定による。）。その基準期間は、以上の基準に準じて各都道府県において定めるところによる。

(2) 店舗型性風俗特殊営業、無店舗型性風俗特殊営業、店舗型電話異性紹介営業又は無店舗型電話異性紹介営業

A 8月の営業停止命令

B 2月以上8月以下の営業停止命令。基準期間は、4月。

C 1月以上8月以下の営業停止命令。基準期間は、2月。

D 20日以上4月以下の営業停止命令。基準期間は、1月。

E 10日以上2月以下の営業停止命令。基準期間は、20日。

F 5日以上40日以下の営業停止命令。基準期間は、14日。

(取消し)

4 取消しは、9前段に定める場合及び量定がAである処分事由がある場合のほか、3及び7から9までに定めるところにより、量定の長期が6月に達した場合で、10(2)アに掲げる処分を加重すべき事由が複数あり、又はその程度が著しい等の事情から、再び法令違反行為を繰り返すおそれが強い等営業の健全化が期待できないと判断されるときに行うものとする。

(営業廃止命令)

5 営業廃止命令は、3及び7から9までに定めるところにより、量定の長期が8月に達した場合で、10(2)アに掲げる処分を加重すべき事由が複数あり、又はその程度が著しい等の事情から、再び法令違反行為を繰り返すおそれが強い等営業禁止区域等において営業を継続させることが妥当でないと判断されるときに行うものとする。

(情状による軽減)

6 取消しを行うべき事案につき情状により特に処分を軽減すべき事由があるときは、取消しに替えて営業停止命令を行うことができるものとする。この場合において、その量定は、2月以上6月以下の営業停止命令とする。

(営業停止命令の併合)

7 処分事由に当たる法令違反行為が2以上行われた場合は、一つの行政処分を行うものとする。この場合において、これらの処分事由の中に量定がAに相当するものが含まれているときの量定はAとするものとし、量定がAに相当するものが含まれていないときの量定は、各処分事由について定めた量定の長期のうち最も長い量定の長期にその2分の1の期間を加算した期間を長期とし、各処分事由について定めた量定の短期のうち最

も長い量定の短期を短期とするものとする。ただし、その長期は、各処分事由について定めた量定の長期を合計した期間及び法定の期間を超えないものとする。

(観念的競合)

- 8 2以上の処分事由に該当する一つの法令違反行為について営業停止命令を行う場合は、それらの処分事由に量定がAに相当するものが含まれているときの量定はAとするものとし、量定がAに相当するものが含まれていないときの量定は、それらの処分事由について定めた量定の長期及び短期のうち最も長いものをそれぞれ長期及び短期とする。

(常習違反加重)

- 9 最近1年間に2月以上の営業停止命令を受けた風俗営業者若しくは特定遊興飲食店営業者又はその代理人等が当該営業停止命令の処分事由に係る法令違反行為と同種の法令違反行為を行ったときは、取消しを行うものとする。

また、最近3年間に営業停止命令を受けた者に対し営業停止命令を行う場合の量定は、その処分事由に係る量定がAに相当するときを除き、当該営業停止命令の処分事由について3及び6から8までに定める量定の長期及び短期にそれぞれ最近3年間に営業停止命令を受けた回数²の数の乗じた期間を長期及び短期とする。ただし、その長期は、法定の期間を超えることができない。

(営業停止命令に係る期間の決定)

- 10 営業停止命令により営業の停止を命ずる期間は、次のとおりとする。

- (1) 原則として、量定がAに相当するものについて営業停止命令を行う場合は、当該営業の種別に応じて6月又は8月とする。

また、量定がAに相当するもの以外のものについて営業停止命令を行う場合は、3に定める基準期間(7に規定する場合は各処分事由のうちその量定の長期が最も長いものについて定められた基準期間の1.5倍の期間を基準期間とし、8に規定する場合は各処分事由のうちその量定の長期が最も長いものについて定められた基準期間を基準期間とし、9後段に規定する場合は当該処分事由について定められた基準期間の2倍の期間を基準期間とする。)によることとする。

- (2) 量定がAに相当するもの以外のものについて営業停止命令を行う場合において次に掲げるような処分を加重し、又は軽減すべき事由があるときは、(1)にかかわらず、情状により、3及び6から9までに定める量定の範囲内において加重し、又は軽減するものとする。

また、量定がAに相当するものについて営業停止命令を行う場合において処分を軽減すべき事由があるときは、情状により、2月を下限として(1)前段に定める期間より短い期間の営業の停止を命ずることができるものとする。

ア 処分を加重すべき事由とは、例えば、次のようなものである。

- (ア) 最近3年間に同一の処分事由により行政処分に処せられたこと。
- (イ) 指示処分の期間中にその処分事由に係る法令違反行為と同種の法令違反行為を行ったこと。
- (ウ) 処分事由に係る行為の態様が著しく悪質であること。
- (エ) 従業者の大多数が法令違反行為に加担していること。
- (オ) 悔悛の情が見られないこと。
- (カ) 付近の住民からの苦情が多数あること。
- (キ) 結果が重大であり、社会的反響が著しく大きいこと。
- (ク) 16歳未満の者の福祉を害する法令違反行為であること。

イ 処分を軽減すべき事由とは、例えば、次のようなものである。

- (ア) 他人に強いられて法令違反行為を行ったこと。
- (イ) 営業者（法人にあっては役員）の関与がほとんどなく、かつ、処分事由に係る法令違反行為を防止できなかったことについて過失がないと認められること。
- (ウ) 最近3年間に処分事由に係る法令違反行為を行ったことがなく、悔悛の情が著しいこと。
- (エ) 具体的な営業の改善措置を自主的に行っていること。

- (3) 法第26条第2項、第30条第3項又は第31条の25第2項の規定に基づく営業停止命令により営業の停止を命ずる期間は、特段の事情がない限り、法第26条第1項又は第31条の25第1項の規定に基づく取消しに伴う場合は6月、法第30条第2項の規定に基づく営業廃止命令に伴う場合は8月とし、法第26条第1項、第30条第1項又は第31条の25第1項の規定に基づく営業停止命令に伴う場合は、当該営業停止命令により営業の停止を命ずる期間と同一の期間とする。

(営業停止等命令と他の行政処分との関係)

- 11 取消し又は営業廃止命令を行うときは、営業停止命令（法第26条第2項、第30条第3項又は第31条の25第2項の規定に基づくものを除く。）は行わないものとする。
- 12 営業停止命令を行う場合において法令違反状態の解消等のため必要があるときは、当該営業停止命令の処分事由について指示処分を併せて行うことができる。

別表

令和6年12月12日以降

処 分 事 由	関係条項	量定
1 風俗営業者に対する許可の取消し又は営業停止命令 (法第26条第1項)		
<法若しくは法に基づく命令又は法に基づく条例の規定 に違反する行為>		
(1) 無許可風俗営業	第3条第1項、第49条第1号	A
(2) 許可証亡失・滅失届出義務違反	第5条第4項	G
(3) 許可証等掲示義務違反	第6条、第55条第1号	G
(4) 相続承認時許可証書換え義務違反	第7条第5項、第55条第2号	G
(5) 合併承認時許可証書換え義務違反	第7条の2第3項(第7条第5項)、 第55条第2号	G
(6) 分割承認時許可証書換え義務違反	第7条の3第3項(第7条第5項)、 第55条第2号	G
(7) 構造・設備の無承認変更、偽りその他不正な手段 による変更に係る承認の取得	第9条第1項、第50条第1項第1号 ・第2号	A
(8) 変更届出義務違反	第9条第3項、第55条第3号	F
(9) 変更届出に係る許可証書換え義務違反	第9条第4項	G
(10) 特例風俗営業者の営業所の構造又は設備の変更に 係る届出義務違反	第9条第5項後段、第54条第2号	E
(11) 許可証返納義務違反	第10条第1項第3号、第55条第4号	G
(12) 不正の手段による認定の取得	第10条の2第1項、第50条第1項第 3号	B
(13) 特例風俗営業者認定申請書等虚偽記載	第10条の2第2項、第54条第3号	E
(14) 認定証亡失・滅失届出義務違反	第10条の2第5項	G
(15) 認定証返納義務違反	第10条の2第7項第2号・第3号、第 55条第5号	F
(16) 名義貸し禁止違反	第11条、第49条第3号	A
(17) 構造・設備維持義務違反	第12条	D
(18) 営業時間制限違反	第13条第1項・第2項	C
(19) 迷惑行為防止措置義務違反	第13条第3項	D

(20)	苦情処理に関する帳簿備付け記載義務違反	第13条第4項	D
(21)	照度規制違反	第14条	E
(22)	騒音・振動規制違反	第15条	D
(23)	広告・宣伝規制違反	第16条	D
(24)	料金表示義務違反	第17条	G
(25)	年少者立入禁止表示義務違反	第18条	G
(26)	接客従業者に対する拘束的行為の規制違反	第18条の2	D
(27)	遊技料金等規制違反	第19条	D
(28)	遊技機規制違反	第20条第1項	B
(29)	遊技機の無承認変更、偽りその他不正な手段による遊技機の変更に係る承認の取得	第20条第10項(第9条第1項)、第50条第1項第1号・第2号	A
(30)	遊技機変更届出義務違反	第20条第10項(第9条第3項第2号)、第55条第3号	D
(31)	条例の遵守事項違反	第21条に基づく条例	H
(32)	客引き禁止違反	第22条第1項第1号、第52条第1号	B
(33)	客引き準備行為禁止違反	第22条第1項第2号、第52条第1号	B
(34)	年少者接待業務従事禁止違反	第22条第1項第3号、第50条第1項第4号	A
(35)	年少者接客業務従事禁止違反	第22条第1項第4号、第50条第1項第4号	A
(36)	年少者の立ち入らせ禁止違反	第22条第1項第5号、第50条第1項第4号、第22条第2項に基づく条例	B
(37)	二十歳未満の者に対する酒類・たばこ提供禁止違反	第22条第1項第6号、第50条第1項第4号	B
(38)	現金等提供禁止違反	第23条第1項第1号、第52条第2号	B
(39)	賞品買取り禁止違反	第23条第1項第2号、第52条第2号	B
(40)	遊技球等持ち出し禁止違反	第23条第1項第3号、第23条第3項、第54条第4号	E
(41)	遊技球等保管書面発行禁止違反	第23条第1項第4号、第23条第3項、第54条第4号	E
(42)	賞品提供禁止違反	第23条第2項、第52条第3号	C
(43)	管理者選任義務違反	第24条第1項、第54条第5号	E
(44)	管理者講習受講義務違反	第24条第7項	G
(45)	営業禁止区域・地域における店舗型性風俗特殊営業の営業(風俗営業者が違反)	第28条第1項・第2項に基づく条例、第49条第5号・第6号	A

(46) 無許可特定遊興飲食店営業	第31条の22、第49条第7号	A
(47) 従業者名簿備付け記載義務違反	第36条、第53条第3号	D
(48) 接客従業者の生年月日等の確認義務違反	第36条の2第1項、第53条第4号	D
(49) 接客従業者の生年月日等の確認記録の作成保存義務違反	第36条の2第2項、第53条第5号	D
(50) 報告・資料提出義務違反	第37条第1項、第53条第6号	D
(51) 立入の拒否、妨害、忌避	第37条第2項、第38条の2第1項、第53条第7号	D
<他の法令の規定に違反する行為>		
(52) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(52)において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(52)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(52)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(52)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(53) 刑法第136条若しくは第137条（これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。）、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで、第187条又は第223条の罪に当たる違法な行為		B
(54) 組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律（以下「組織的犯罪処罰法」という。）第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(55) 組織的犯罪処罰法第3条（第1項第9号に係る部分に限る。）、第4条（同法第3条第1項第9号に係る部分に限る。）又は第6条（第1項第2号に係る部分に限る。）		B

る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為	
(56) 暴行、脅迫、監禁その他精神又は身体の自由を不当に拘束する手段によって、営業に従事する者の意思に反して次に掲げる役務を提供することを強制する行為 イ 個室において異性の客の性的好奇心に応じてその客に接触する役務 ロ 令第2条各号に規定する興行に係る衣服を脱いだ姿態を見せる役務 ハ 面識のない異性との一時的性的好奇心を満たすための交際(会話を含む。)を希望する者と面会する役務(イに該当するものを除く。)	D
(57) (56)に規定する手段によって、客に(56)イ、ロ若しくはハに掲げる役務((56)ロに掲げる役務にあつては、令第2条第3号に規定する興行に係るものを除く。)の提供を受けること又は令第4条に規定する物品を購入し、若しくは借り受けることを強要する行為	D
(58) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為	A
(59) 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律(以下「児童買春・児童ポルノ法」という。)第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為	A
(60) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当たる違法な行為	B
(61) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為	B
(62) 労働基準法第117条、第118条第1項(同法第6条又は第56条に係る部分に限る。)又は第119条第1号(同法第61条又は第62条に係る部分に限る。)の罪(労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律(以下「労働者派遣法」と	A

いう。)の規定により適用する場合を含む。)に当たる違法な行為	
(63) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(64) 児童福祉法第60条第1項又は第2項(同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為	A
(65) 児童福祉法第60条第2項(同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為	B
(66) 児童福祉法第60条第2項(同法第34条第1項第1号から第4号の2まで又は第8号に係る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為	E
(67) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為であって、風俗営業において客の接待その他客に接する業務に従事させていたもの	A
(68) (67)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為	B
(69) 出入国管理及び難民認定法第74条第1項、第2項若しくは第3項、第74条の2第1項若しくは第2項、第74条の3、第74条の4第1項、第2項若しくは第3項、第74条の5、第74条の6又は第74条の8第1項、第2項若しくは第3項の罪に当たる違法な行為	C
(70) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
(71) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為	D
(72) 覚醒剤取締法第41条の2(所持又は譲渡に係る部分に限る。)、第41条の3(同法第19条若しくは第20条第2項(これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。))又は同条第3項に係る部分に限る。)、第41条の4(同法第30条の7、第30条の9(譲渡に係る部分に限る。))又は第30条の11(他人に対する施用に係る部分に限る。))に係る部分に限る。)、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為	B

(73) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2（譲渡、交付又は所持に係る部分に限る。）、第64条の3（他人に対する施用に係る部分に限る。）、第66条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第66条の2（同法第27条第1項、第3項又は第4項（これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為		B
(74) あへん法第52条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為		B
(75) 競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為		D
(76) 自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(77) 小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(78) モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(79) スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(80) 刑法第24章（礼拝所及び墳墓に関する罪）の罪に当たる違法な行為		D
(81) 関税法第69条の11第1項の規定（第1号及び第7号に係る部分に限る。）に違反する行為（薬物、公安・風俗を害する書籍・図画等の輸入）	関税法第109条第1項・第2項	A
(82) 電波法第108条（わいせつな通信の発信）の罪に当たる違法な行為		A
(83) 無限連鎖講の防止に関する法律第3条（無限連鎖講の禁止）の規定に違反する行為	無限連鎖講の防止に関する法律第5条、第6条、第7条	D
(84) 当せん金付証票法第6条第7項の規定に違反する行為（当せん金付証票の転売）	当せん金付証票法第18条第1項第1号	D
(85) 二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第1条第1項又は第2項の規定に違反する行為（二十歳未	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第3条第2項	F

	満の者の飲酒、親権者等の不制止)		
(86)	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第1条第3項の規定に違反する行為（営業者による酒類の販売・供与）	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第3条第1項	D
(87)	二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律第1条（二十歳未満の者の喫煙禁止）の規定に違反し、又は同法第3条第1項若しくは第2項（親権者等の不制止）の罪に当たる違法な行為		F
(88)	二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律第5条の罪に当たる違法な行為（煙草・器具の販売）		D
(89)	酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律第4条第1項若しくは第3項又は第5条第2項の罪に当たる違法な行為（酩酊者の粗野・乱暴な言動等）	酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律第4条第2項	F
(90)	動物の愛護及び管理に関する法律第44条第1項、第2項又は第3項の罪に当たる違法な行為（愛護動物のみだりな殺傷等）		E
(91)	軽犯罪法第1条第4号、第14号、第20号、第22号、第23号、第24号、第26号、第27号、第28号、第33号若しくは第34号又は第3条の罪に当たる違法な行為	軽犯罪法第2条	F
(92)	食品衛生法第6条若しくは第55条第1項の規定に違反し、又は同法第81条第1項第3号若しくは第83条第4号若しくは第5号の罪に当たる違法な行為（人の健康を損なうおそれがある食品の販売、無許可営業、営業停止命令違反等）	食品衛生法第54条、第55条第3項、第59条第1項、第60条、第61条、第81条第1項第1号、第81条第2項、第82条第1項・第2項	D
(93)	興行場法第2条第1項（営業の許可）の規定に違反し、又は同法第8条第2号（営業停止命令違反）若しくは第9条（虚偽の報告、検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	興行場法第5条第1項、第6条、第8条第1号	D
(94)	旅館業法第3条第1項（営業の許可）、第5条（宿泊をさせる義務）若しくは第6条第1項（宿泊者名簿の備付け等）の規定に違反し、又は同法第10条第2号（営業停止命令違反）若しくは第11条第2号（虚偽の報告、検査の妨害等）の罪に当たる違法	旅館業法第7条第1項、第8条、第10条第1号、第11条第1号	D

な行為		
(95) 公衆浴場法第2条第1項（経営の許可）の規定に違反し、又は同法第8条第2号（営業停止命令違反）若しくは第9条（虚偽の報告、立入検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	公衆浴場法第6条第1項、第7条第1項、第8条第1号	D
(96) 道路交通法第77条第1項の規定に違反する行為（無許可道路使用）	道路交通法第119条第2項第7号	E
(97) 建築基準法第98条第1項第1号の罪に当たる違法な行為（特定行政庁等の命令に対する違反）	建築基準法第9条第1項・第10項前段	D
(98) 消防法第39条の2の2（防火対象物の使用禁止命令違反等）、第39条の3の2（防火対象物の改修命令違反等）、第41条第1項第1号（火を使用する設備の使用禁止等に係る命令違反）若しくは第5号（消防用設備等の設置に係る命令違反等）又は第44条第12号（消防用設備等の維持に係る措置命令違反等）の罪に当たる違法な行為	消防法第5条第1項、第5条の2第1項、第5条の3第1項、第17条の4第1項・第2項	D
(99) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条（投棄禁止）の規定に違反する行為	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条第1項第14号、第25条第2項	D
(100) その他の法令の規定に違反する行為		H
<法に基づく処分又は条件に違反する行為>		
(101) 広告・宣伝規制違反に対する指示処分違反	第16条、第25条	B
(102) (101)以外の指示処分違反	第25条	C
(103) 営業停止命令違反	第26条第1項、第49条第4号	A
(104) 許可の条件違反	第3条第2項	C
2 店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する営業停止命令（法第30条第1項）		
<法に規定する罪（法第49条第5号及び第6号の罪を除く。）に当たる違法な行為>		
(1) 営業届出義務違反の罪	第27条第1項・第3項、第52条第4号・第5号	B
(2) 営業廃止・変更届出義務違反の罪	第27条第2項・第3項、第54条第6	E

(3) 広告・宣伝の禁止違反の罪	号 第27条の2、第53条第1号	C
(4) 広告・宣伝の方法違反の罪	第28条第5項、第53条第2号	C
(5) 客引き禁止違反の罪	第28条第12項第1号、第52条第1号	B
(6) 客引き準備行為禁止違反の罪	第28条第12項第2号、第52条第1号	B
(7) 年少者接客業務従事禁止違反の罪	第28条第12項第3号、第50条第1項第5号	A
(8) 年少者の立ち入らせ禁止違反の罪	第28条第12項第4号、第50条第1項第5号	B
(9) 二十歳未満の者に対する酒類・たばこ提供禁止違反の罪	第28条第12項第5号、第50条第1項第5号	B
(10) 標章破壊等禁止違反の罪	第31条第4項、第55条第6号	E
(11) 従業者名簿備付け記載義務違反の罪	第36条、第53条第3号	D
(12) 接客従業者の生年月日等の確認義務違反の罪	第36条の2第1項、第53条第4号	D
(13) 接客従業者の生年月日等の確認記録の作成保存義務違反の罪	第36条の2第2項、第53条第5号	D
(14) 報告・資料提出義務違反の罪	第37条第1項、第53条第6号	D
(15) 立入の拒否、妨害、忌避の罪	第37条第2項、第38条の2第1項、第53条第7号	D
<法第30条第1項に掲げる罪に当たる違法な行為>		
(16) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下この号において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(16)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(16)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(16)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）		A

の罪に当たる違法な行為	
(17) 組織的犯罪処罰法第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	A
(18) 組織的犯罪処罰法第6条（第1項第2号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	B
(19) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為	A
(20) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為	A
(21) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当たる違法な行為	B
(22) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為	B
(23) 労働基準法第117条、第118条第1項（同法第6条又は第56条に係る部分に限る。）又は第119条第1号（同法第61条又は第62条に係る部分に限る。）の罪（労働者派遣法の規定により適用する場合を含む。）に当たる違法な行為	A
(24) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(25) 児童福祉法第60条第1項又は第2項（同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	A
(26) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	B
(27) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為であって、店舗型性風俗特殊営業において客に接する業務に従事させていたもの	A
(28) (27)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為	B
(29) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
<政令で定める重大な不正行為>	

<p>(30) 刑法第136条若しくは第137条（これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。）、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで又は第187条の罪に当たる違法な行為</p>	B
<p>(31) 暴行、脅迫、監禁その他精神又は身体の自由を不当に拘束する手段によって、営業に従業する者の意思に反して次に掲げる役務を提供することを強制する行為</p> <p>イ 法第2条第6項第1号又は第2号に掲げる営業に係る異性の客に接触する役務</p> <p>ロ 令第2条各号に規定する興行に係る衣服を脱いだ姿態を見せる役務</p> <p>ハ 令第5条に規定する営業に係る異性の客と面会する役務</p>	D
<p>(32) (31)に規定する手段によって、客に(31)イ、ロ若しくはハに掲げる役務（(31)ロに掲げる役務にあつては、令第2条第3号に規定する興行に係るものを除く。）の提供を受けること又は法第2条第6項第5号に掲げる営業に係る令第4条に規定する物品を購入し、若しくは借り受けることを強要する行為</p>	D
<p>(33) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為</p>	D
<p>(34) 覚醒剤取締法第41条の2（所持又は譲渡に係る部分に限る。）、第41条の3（同法第19条若しくは第20条第2項（これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。）又は同条第3項に係る部分に限る。）、第41条の4（同法第30条の7、第30条の9（譲渡に係る部分に限る。）又は第30条の11（他人に対する施用に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為</p>	B
<p>(35) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2（譲渡、交付又は所持に係る部分に限る。）、第64条の3（他人に対する施用に係る部分に限る。）、第66条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第66条の2（同法</p>	B

第27条第1項、第3項又は第4項（これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為		
(36) あへん法第52条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為		B
(37) 競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為		D
(38) 自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(39) 小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(40) モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(41) スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為		D
<法に基づく処分に違反する行為>		
(42) 届出確認書の備付け・提示義務違反に対する指示処分違反	第27条第5項、第29条	C
(43) 営業時間制限違反に対する指示処分違反	第28条第4項に基づく条例、第29条	C
(44) 清浄な風俗環境を害するおそれのある方法による広告・宣伝に対する指示処分違反	第28条第8項、第29条	C
(45) 広告・宣伝に係る年少者立入禁止明示義務違反に対する指示処分違反	第28条第9項、第29条	C
(46) 年少者立入禁止表示義務違反に対する指示処分違反	第28条第10項、第29条	C
(47) 接客従業者に対する拘束的行為の規制違反に対する指示処分違反	第28条第11項(第18条の2)、第29条	C
(48) (42)～(47)以外の指示処分違反	第29条	C
(49) 営業停止命令違反	第30条第1項、第49条第4号	A

3 無店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する営業停止命令（法第31条の5第1項、第31条の6第2項第2号）

<法に規定する罪に当たる違法な行為>

(1) 営業禁止区域・地域における店舗型性風俗特殊営業の営業（無店舗型性風俗特殊営業を営む者が違反）	第28条第1項・第2項に基づく条例、第49条第5号・第6号	A
(2) 営業届出義務違反の罪	第31条の2第1項・第3項、第52条第4号・第5号	B
(3) 営業廃止・変更届出義務違反の罪	第31条の2第2項・第3項、第54条第6号	E
(4) 広告・宣伝の禁止違反の罪	第31条の2の2、第53条第1号	C
(5) 広告・宣伝の方法違反の罪	第31条の3第1項（第28条第5項）、第53条第2号	C
(6) 禁止区域内営業の罪（受付所営業）	第31条の3第2項（第28条第1項）、第49条第5号	A
(7) 禁止地域内営業の罪（受付所営業）	第31条の3第2項（第28条第2項）に基づく条例、第49条第6号	A
(8) 客引き禁止違反の罪（受付所営業）	第31条の3第2項（第28条第12項第1号）、第52条第1号	B
(9) 客引き準備行為禁止違反の罪（受付所営業）	第31条の3第2項（第28条第12項第2号）、第52条第1号	B
(10) 年少者の立ち入らせ禁止違反の罪（受付所営業）	第31条の3第2項（第28条第12項第4号）、第50条第1項第5号	B
(11) 二十歳未満の者に対する酒類・たばこ提供禁止違反の罪（受付所営業）	第31条の3第2項（第28条第12項第5号）、第50条第1項第5号	B
(12) 年少者接客業務従事禁止違反の罪	第31条の3第3項第1号、第50条第1項第6号	A
(13) 標章破壊等禁止違反の罪（受付所営業）	第31条の5第3項（第31条第4項）、第31条の6第3項（第31条第4項）、第55条第6号	E
(14) 従業者名簿備付け記載義務違反の罪	第36条、第53条第3号	D
(15) 接客従業者の生年月日等の確認義務違反の罪	第36条の2第1項、第53条第4号	D
(16) 接客従業者の生年月日等の確認記録の作成保存義務	第36条の2第2項、第53条第5号	D

務違反の罪		
(17) 報告・資料提出義務違反の罪	第37条第1項、第53条第6号	D
(18) 立入の拒否、妨害、忌避の罪	第37条第2項、第38条の2第1項、 第53条第7号	D
<法第31条の5第1項及び第31条の6第2項第2号に掲げる罪に当たる違法な行為>		
(19) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(19)において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(19)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(19)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(19)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(20) 組織的犯罪処罰法第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(21) 組織的犯罪処罰法第6条（第1項第2号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		B
(22) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為		A
(23) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為		A
(24) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当たる違法な行為		B
(25) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為		B
(26) 労働基準法第117条、第118条第1項（同法第6条		A

又は第56条に係る部分に限る。)又は第119条第1号(同法第61条又は第62条に係る部分に限る。)の罪(労働者派遣法の規定により適用する場合を含む。)に当たる違法な行為	
(27) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(28) 児童福祉法第60条第1項又は第2項(同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為	A
(29) 児童福祉法第60条第2項(同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為	B
(30) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為であって、無店舗型性風俗特殊営業において客に接する業務に従事させていたもの	A
(31) (30)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為	B
(32) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
<政令で定める重大な不正行為>	
(33) 刑法第136条若しくは第137条(これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。)、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで又は第187条の罪に当たる違法な行為	B
(34) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為	D
(35) 覚醒剤取締法第41条の2(所持又は譲渡に係る部分に限る。)、第41条の3(同法第19条若しくは第20条第2項(これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。))又は同条第3項に係る部分に限る。)、第41条の4(同法第30条の7、第30条の9(譲渡に係る部分に限る。))又は第30条の11(他人に対する施用に係る部分に限る。))に係る部分に限る。)、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為	B
(36) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2(譲渡、交付	B

又は所持に係る部分に限る。)、第64条の3(他人に対する施用に係る部分に限る。)、第66条(譲渡又は所持に係る部分に限る。)、第66条の2(同法第27条第1項、第3項又は第4項(これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。))に係る部分に限る。)、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為		
(37) あへん法第52条(譲渡又は所持に係る部分に限る。)、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為		B
(38) 競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為		D
(39) 自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(40) 小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(41) モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(42) スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(43) 暴行、脅迫、監禁その他精神又は身体を不当に拘束する手段によって、営業に従業する者の意思に反して法第2条第7項第1号に掲げる営業に係る異性の客に接触する役務を提供することを強制する行為		D
(44) (43)に規定する手段によって、客に(43)に規定する役務の提供を受けること又は法第2条第7項第2号に掲げる営業に係る令第4条に規定する物品を購入し、若しくは借り受けることを強要する行為		D
<法に基づく処分に違反する行為>		
(45) 届出確認書の備付け・提示義務違反に対する指示処分違反	第31条の2第5項、第31条の4第1項、第31条の6第2項第1号	C
(46) 接客従業者に対する拘束的行為の規制違反に対す	第31条の3第1項(第18条の2第1	C

る指示処分違反	項)、第31条の4第1項、第31条の6第2項第1号	
(47) 清浄な風俗環境を害するおそれのある方法による 広告・宣伝に対する指示処分	第31条の3第1項(第28条第8項)、 第31条の4第1項、第31条の6第2 項第1号	C
(48) 広告・宣伝に係る年少者利用禁止明示義務違反に 対する指示処分違反	第31条の3第1項(第28条第9項)、 第31条の4第1項、第31条の6第2 項第1号	C
(49) 営業時間制限違反に対する指示処分違反(受付所 営業)	第31条の3第2項(第28条第4項) に基づく条例、第31条の4第1項、第 31条の6第2項第1号	C
(50) 年少者立入禁止表示義務違反に対する指示処分違 反(受付所営業)	第31条の3第2項(第28条第10 項)、第31条の4第1項、第31条の 6第2項第1号	C
(51) 年少者を客とすることの禁止違反に対する指示処 分違反	第31条の3第3項第2号、第31条の 4第1項、第31条の6第2項第1号	C
(52) (45)～(51)以外の指示処分違反	第31条の4第1項、第31条の6第2 項第1号	C
(53) 営業停止命令等違反	第31条の5第1項・第2項、第31条 の6第2項第2号・第3号、第49条第 4号	A
4 店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する営業停止 命令(法第31条の15第1項)		
<法に規定する罪(法第49条第5号及び第6号の罪を除 く。)に当たる違法な行為>		
(1) 営業届出義務違反の罪	第31条の12第1項・第2項(第27 条第3項)、第52条第4号・第5号	B
(2) 営業廃止・変更届出義務違反の罪	第31条の12第2項(第27条第2項 ・第3項)、第54条第6号	E
(3) 広告・宣伝の方法違反の罪	第31条の13第1項(第28条第5 項)、第53条第2号	C
(4) 客引き禁止違反の罪	第31条の13第2項第1号、第52条	B

(5) 客引き準備行為禁止違反の罪	第1号 第31条の13第2項第2号、第52条 第1号	B
(6) 年少者接客業務従事禁止違反の罪	第31条の13第2項第3号、第50条 第1項第8号	A
(7) 年少者会話機会提供業務従事禁止違反の罪	第31条の13第2項第4号、第50条 第1項第8号	B
(8) 年少者の立ち入らせ禁止違反の罪	第31条の13第2項第5号、第50条 第1項第8号	B
(9) 二十歳未満の者に対する酒類・たばこ提供禁止違反の罪	第31条の13第2項第6号、第50条 第1項第8号	B
(10) 標章破壊等禁止違反の罪	第31条の16第4項、第55条第6号	E
(11) 従業者名簿備付け記載義務違反の罪	第36条、第53条第3号	D
(12) 報告・資料提出義務違反の罪	第37条第1項、第53条第6号	D
(13) 立入の拒否、妨害、忌避の罪	第37条第2項、第38条の2第1項、 第53条第7号	D
<法第31条の15第1項に掲げる罪に当たる違法な行為>		
(14) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(14)において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(14)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(14)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(14)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(15) 組織的犯罪処罰法第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(16) 組織的犯罪処罰法第6条（第1項第2号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		B

(17) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為	A
(18) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、 第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当 たる違法な行為	A
(19) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当 たる違法な行為	B
(20) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に 記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消 去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当 たる違法な行為	B
(21) 労働基準法第117条、第118条第1項（同法第6条 又は第56条に係る部分に限る。）又は第119条第1号 （同法第61条又は第62条に係る部分に限る。）の罪 （労働者派遣法の規定により適用する場合を含 む。）に当たる違法な行為	A
(22) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(23) 児童福祉法第60条第1項又は第2項（同法第34条 第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限 る。）の罪に当たる違法な行為	A
(24) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第4 号の3に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行 為	B
(25) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪 に当たる違法な行為であって、店舗型電話異性紹介 営業において会話の機会を提供する会話の当事者に することその他客に接する業務に従事させていたも の	A
(26) (25)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2 第1項の罪に当たる違法な行為	B
(27) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
<政令で定める重大な不正行為>	
(28) 刑法第136条若しくは第137条（これらの規定中販 売又は販売目的の所持に係る部分に限る。）、第139 条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条か	B

ら第182条まで又は第187条の罪に当たる違法な行為	
(29) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為	D
(30) 覚醒剤取締法第41条の2（所持又は譲渡に係る部分に限る。）、第41条の3（同法第19条若しくは第20条第2項（これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。）又は同条第3項に係る部分に限る。）、第41条の4（同法第30条の7、第30条の9（譲渡に係る部分に限る。）又は第30条の11（他人に対する施用に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為	B
(31) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2（譲渡、交付又は所持に係る部分に限る。）、第64条の3（他人に対する施用に係る部分に限る。）、第66条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第66条の2（同法第27条第1項、第3項又は第4項（これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為	B
(32) あへん法第52条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為	B
(33) 競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為	D
(34) 自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為	D
(35) 小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為	D
(36) モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為	D
(37) スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為	D

<p><法に基づく処分に違反する行為></p> <p>(38) 届出確認書の備付け・提示義務違反に対する指示処分違反</p> <p>(39) 営業時間制限違反に対する指示処分違反</p> <p>(40) 清浄な風俗環境を害するおそれのある方法による広告・宣伝に対する指示処分違反</p> <p>(41) 広告・宣伝に係る年少者立入禁止等明示義務違反に対する指示処分違反</p> <p>(42) 年少者立入禁止表示義務違反に対する指示処分違反</p> <p>(43) 年少者からの会話申込み取次ぎ禁止違反に対する指示処分違反</p> <p>(44) 年齢確認措置義務違反に対する指示処分違反</p> <p>(45) (38)～(44)以外の指示処分違反</p> <p>(46) 営業停止命令違反</p>	<p>第31条の12第2項(第27条第5項)、第31条の14</p> <p>第31条の13第1項(第28条第4項)に基づく条例、第31条の14</p> <p>第31条の13第1項(第28条第8項)、第31条の14</p> <p>第31条の13第1項(第28条第9項)、第31条の14</p> <p>第31条の13第1項(第28条第10項)、第31条の14</p> <p>第31条の13第2項第7号、第31条の14</p> <p>第31条の13第3項、第31条の14</p> <p>第31条の14</p> <p>第31条の15第1項、第49条第4号</p>	<p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>A</p>
<p>5 無店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する営業停止命令(法第31条の20、第31条の21第2項第2号)</p> <p><法に規定する罪に当たる違法な行為></p> <p>(1) 営業届出義務違反の罪</p> <p>(2) 営業廃止・変更届出義務違反の罪</p> <p>(3) 広告・宣伝の方法違反の罪</p> <p>(4) 年少者会話機会提供業務従事禁止違反の罪</p> <p>(5) 従業者名簿備付け記載義務違反の罪</p> <p>(6) 報告・資料提出義務違反</p>	<p>第31条の17第1項・第2項(第31条の2第3項)、第52条第4号・第5号</p> <p>第31条の17第2項(第31条の2第2項・第3項)、第54条第6号</p> <p>第31条の18第1項(第28条第5項)、第53条第2号</p> <p>第31条の18第2項第1号、第50条第1項第9号</p> <p>第36条、第53条第3号</p> <p>第37条第1項、第53条第6号</p>	<p>B</p> <p>E</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>D</p> <p>D</p>

＜法第31条の20及び第31条の21第2項第2号に掲げる罪に当たる違法な行為＞

- | | |
|--|---|
| (7) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(7)において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(7)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(7)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(7)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為 | A |
| (8) 組織的犯罪処罰法第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為 | A |
| (9) 組織的犯罪処罰法第6条（第1項第2号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為 | B |
| (10) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為 | A |
| (11) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為 | A |
| (12) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当たる違法な行為 | B |
| (13) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為 | B |
| (14) 労働基準法第117条、第118条第1項（同法第6条又は第56条に係る部分に限る。）又は第119条第1号（同法第61条又は第62条に係る部分に限る。）の罪（労働者派遣法の規定により適用する場合を含む。）に当たる違法な行為 | A |

(15) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(16) 児童福祉法第60条第1項又は第2項（同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	A
(17) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	B
(18) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為であって、無店舗型電話異性紹介営業において会話の機会を提供する会話の当事者にさせていたもの	A
(19) (18)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為	B
(20) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
<政令で定める重大な不正行為>	
(21) 刑法第136条若しくは第137条（これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。）、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで又は第187条の罪に当たる違法な行為	B
(22) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為	D
(23) 覚醒剤取締法第41条の2（所持又は譲渡に係る部分に限る。）、第41条の3（同法第19条若しくは第20条第2項（これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。）又は同条第3項に係る部分に限る。）、第41条の4（同法第30条の7、第30条の9（譲渡に係る部分に限る。）又は第30条の11（他人に対する施用に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為	B
(24) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2（譲渡、交付又は所持に係る部分に限る。）、第64条の3（他人に対する施用に係る部分に限る。）、第66条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第66条の2（同法	B

第27条第1項、第3項又は第4項（これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為		
(25) あへん法第52条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為		B
(26) 競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為		D
(27) 自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(28) 小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(29) モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(30) スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為		D
<法に基づく処分に違反する行為>		
(31) 届出確認書の備付け・提示義務違反に対する指示処分違反	第31条の17第2項(第31条の2第5項)、第31条の19第1項、第31条の21第2項第1号	C
(32) 清浄な風俗環境を害するおそれのある方法による広告・宣伝に対する指示処分違反	第31条の18第1項(第28条第8項)、第31条の19第1項、第31条の21第2項第1号	C
(33) 広告・宣伝に係る年少者電話禁止明示義務違反に対する指示処分違反	第31条の18第1項(第28条第9項)、第31条の19第1項、第31条の21第2項第1号	C
(34) 年少者との間の会話申込み取次ぎ禁止違反に対する指示処分違反	第31条の18第2項第2号、第31条の19第1項、第31条の21第2項第1号	C
(35) 年齢確認措置義務違反に対する指示処分違反	第31条の18第3項、第31条の19第1項、第31条の21第2項第1号	C
(36) (31)～(35)以外の指示処分違反	第31条の19第1項、第31条の21	C

(37) 営業停止命令違反	第2項第1号 第31条の20、第31条の21第2項 第2号、第49条第4号	A
6 特定遊興飲食店営業者に対する許可の取消し又は営業停止命令（法第31条の25）		
＜法若しくは法に基づく命令又は法に基づく条例の規定に違反する行為＞		
(1) 無許可風俗営業	第3条第1項、第49条第1号	A
(2) 無許可特定遊興飲食店営業	第31条の22、第49条第7号	A
(3) 許可証亡失・滅失届出義務違反	第31条の23（第5条第4項）	G
(4) 許可証等掲示義務違反	第31条の23（第6条）、第55条第1号	G
(5) 相続承認時許可証書換え義務違反	第31条の23（第7条第5項）、第55条第2号	G
(6) 合併承認時許可証書換え義務違反	第31条の23（第7条の2第3項（第7条第5項））、第55条第2号	G
(7) 分割承認時許可証書換え義務違反	第31条の23（第7条の3第3項（第7条第5項））、第55条第2号	G
(8) 構造・設備の無承認変更、偽りその他不正な手段による変更に係る承認の取得	第31条の23（第9条第1項）、第50条第1項第1号・第2号	A
(9) 変更届出義務違反	第31条の23（第9条第3項）、第55条第3号	F
(10) 変更届出に係る許可証書換え義務違反	第31条の23（第9条第4項）	G
(11) 特例特定遊興飲食店営業者の営業所の構造又は設備の変更に係る届出義務違反	第31条の23（第9条第5項後段）、第54条第2号	E
(12) 許可証返納義務違反	第31条の23（第10条第1項第3号）、第55条第4号	G
(13) 不正の手段による認定の取得	第31条の23（第10条の2第1項）、第50条第1項第3号	B
(14) 特例特定遊興飲食店営業者認定申請書等虚偽記載	第31条の23（第10条の2第2項）、第54条第3号	E
(15) 認定証亡失・滅失届出義務違反	第31条の23（第10条の2第5項）	G

(16)	認定証返納義務違反	第31条の23(第10条の2第7項第2号・第3号)、第55条第5号	F
(17)	名義貸し禁止違反	第31条の23(第11条)、第49条第3号	A
(18)	構造・設備維持義務違反	第31条の23(第12条)	D
(19)	営業時間制限違反	第31条の23(第13条第2項)	C
(20)	迷惑行為防止措置義務違反	第31条の23(第13条第3項)	D
(21)	苦情処理に関する帳簿備付け記載義務違反	第31条の23(第13条第4項)	D
(22)	照度規制違反	第31条の23(第14条)	E
(23)	騒音・振動規制違反	第31条の23(第15条)	D
(24)	年少者立入禁止表示義務違反	第31条の23(第18条)	G
(25)	接客従業者に対する拘束的行為の規制違反	第31条の23(第18条の2)	D
(26)	条例の遵守事項違反	第31条の23(第21条)に基づく条例	H
(27)	客引き禁止違反	第31条の23(第22条第1項第1号)、第52条第1号	B
(28)	客引き準備行為禁止違反	第31条の23(第22条第1項第2号)、第52条第1号	B
(29)	年少者接客業務従事禁止違反	第31条の23(第22条第1項第4号)、第50条第1項第4号	A
(30)	年少者の立ち入らせ禁止違反	第31条の23(第22条第1項第5号)、第50条第1項第4号	B
(31)	二十歳未満の者に対する酒類・たばこ提供禁止違反	第31条の23(第22条第1項第6号)、第50条第1項第4号	B
(32)	管理者選任義務違反	第31条の23(第24条第1項)、第54条第5号	E
(33)	管理者講習受講義務違反	第31条の23(第24条第7項)	G
(34)	営業禁止区域・地域における店舗型性風俗特殊営業の営業(特定遊興飲食店営業者が違反)	第28条第1項・第2項に基づく条例、第49条第5号・第6号	A
(35)	従業者名簿備付け記載義務違反	第36条、第53条第3号	D
(36)	接客従業者の生年月日等の確認義務違反	第36条の2第1項、第53条第4号	D
(37)	接客従業者の生年月日等の確認記録の作成保存義務違反	第36条の2第2項、第53条第5号	D
(38)	報告・資料提出義務違反	第37条第1項、第53条第6号	D
(39)	立入の拒否、妨害、忌避	第37条第2項、第38条の2第1項、	D

＜他の法令の規定に違反する行為＞

- | | |
|---|---|
| <p>(40) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。）以下(40)において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(40)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(40)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(40)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為</p> | A |
| <p>(41) 刑法第136条若しくは第137条（これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。）、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで、第187条又は第223条の罪に当たる違法な行為</p> | B |
| <p>(42) 組織的犯罪処罰法第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為</p> | A |
| <p>(43) 組織的犯罪処罰法第3条（第1項第9号に係る部分に限る。）、第4条（同法第3条第1項第9号に係る部分に限る。）又は第6条（第1項第2号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為</p> | B |
| <p>(44) 暴行、脅迫、監禁その他精神又は身体を自由に拘束する手段によって、営業に従事する者の意思に反して次に掲げる役務を提供することを強制する行為</p> <p>イ 個室において異性の客の性的好奇心に応じてその客に接触する役務</p> <p>ロ 令第2条各号に規定する興行に係る衣服を脱いだ姿態を見せる役務</p> | D |

ハ 面識のない異性との一時の性的好奇心を満たすための交際（会話を含む。）を希望する者と面会する役務（イに該当するものを除く。）	
(45) (44)に規定する手段によって、客に(44)イ、ロ若しくはハに掲げる役務（(44)ロに掲げる役務にあつては、令第2条第3号に規定する興行に係るものを除く。）の提供を受けること又は令第4条に規定する物品を購入し、若しくは借り受けることを強要する行為	D
(46) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為	A
(47) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為	A
(48) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当たる違法な行為	B
(49) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為	B
(50) 労働基準法第117条、第118条第1項（同法第6条又は第56条に係る部分に限る。）又は第119条第1号（同法第61条又は第62条に係る部分に限る。）の罪（労働者派遣法の規定により適用する場合を含む。）に当たる違法な行為	A
(51) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(52) 児童福祉法第60条第1項又は第2項（同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	A
(53) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	B
(54) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第1号から第4号の2まで又は第8号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	E
(55) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪	A

に当たる違法な行為であって、特定遊興飲食店営業において客の接待その他客に接する業務に従事させていたもの	
(56) (55)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為	B
(57) 出入国管理及び難民認定法第74条第1項、第2項若しくは第3項、第74条の2第1項若しくは第2項、第74条の3、第74条の4第1項、第2項若しくは第3項、第74条の5、第74条の6又は第74条の8第1項、第2項若しくは第3項の罪に当たる違法な行為	C
(58) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
(59) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為	D
(60) 覚醒剤取締法第41条の2（所持又は譲渡に係る部分に限る。）、第41条の3（同法第19条若しくは第20条第2項（これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。）又は同条第3項に係る部分に限る。）、第41条の4（同法第30条の7、第30条の9（譲渡に係る部分に限る。）又は第30条の11（他人に対する施用に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為	B
(61) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2（譲渡、交付又は所持に係る部分に限る。）、第64条の3（他人に対する施用に係る部分に限る。）、第66条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第66条の2（同法第27条第1項、第3項又は第4項（これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為	B
(62) あへん法第52条（譲渡又は所持に係る部分に限る。）、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為	B

(63)	競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為		D
(64)	自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(65)	小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(66)	モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(67)	スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(68)	刑法第24章（礼拝所及び墳墓に関する罪）の罪に当たる違法な行為		D
(69)	関税法第69条の11第1項の規定（第1号及び第7号に係る部分に限る。）に違反する行為（薬物、公安・風俗を害する書籍・図画等の輸入）	関税法第109条第1項・第2項	A
(70)	電波法第108条（わいせつな通信の発信）の罪に当たる違法な行為		A
(71)	無限連鎖講の防止に関する法律第3条（無限連鎖講の禁止）の規定に違反する行為	無限連鎖講の防止に関する法律第5条、第6条、第7条	D
(72)	当せん金付証券法第6条第7項の規定に違反する行為（当せん金付証券の転売）	当せん金付証券法第18条第1項第1号	D
(73)	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第1条第1項又は第2項の規定に違反する行為（二十歳未満の者の飲酒、親権者等の不制止）	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第3条第2項	F
(74)	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第1条第3項の規定に違反する行為（営業者による酒類の販売・供与）	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第3条第1項	D
(75)	二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律第1条（二十歳未満の者の喫煙禁止）の規定に違反し、又は同法第3条第1項若しくは第2項（親権者等の不制止）の罪に当たる違法な行為		F
(76)	二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律第5条の罪に当たる違法な行為（煙草・器具の販売）		D
(77)	酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律第4条第1項若しくは第3項又は第5条第	酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律第4条第2項	F

2項の罪に当たる違法な行為（酩酊者の粗野・乱暴な言動等）		
(78) 動物の愛護及び管理に関する法律第44条第1項、第2項又は第3項の罪に当たる違法な行為（愛護動物のみだりな殺傷等）		E
(79) 軽犯罪法第1条第4号、第14号、第20号、第22号、第23号、第24号、第26号、第27号、第28号、第33号若しくは第34号又は第3条の罪に当たる違法な行為	軽犯罪法第2条	F
(80) 食品衛生法第6条若しくは第55条第1項の規定に違反し、又は同法第81条第1項第3号若しくは第83条第4号若しくは第5号の罪に当たる違法な行為（人の健康を損なうおそれがある食品の販売、無許可営業、営業停止命令違反等）	食品衛生法第54条、第55条第3項、第59条第1項、第60条、第61条、第81条第1項第1号、第81条第2項、第82条第1項・第2項	D
(81) 興行場法第2条第1項（営業の許可）の規定に違反し、又は同法第8条第2号（営業停止命令違反）若しくは第9条（虚偽の報告、検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	興行場法第5条第1項、第6条、第8条第1号	D
(82) 旅館業法第3条第1項（営業の許可）、第5条（宿泊をさせる義務）若しくは第6条第1項（宿泊者名簿の備付け等）の規定に違反し、又は同法第10条第2号（営業停止命令違反）若しくは第11条第2号（虚偽の報告、検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	旅館業法第7条第1項、第8条、第10条第1号、第11条第1号	D
(83) 公衆浴場法第2条第1項（経営の許可）の規定に違反し、又は同法第8条第2号（営業停止命令違反）若しくは第9条（虚偽の報告、立入検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	公衆浴場法第6条第1項、第7条第1項、第8条第1号	D
(84) 道路交通法第77条第1項の規定に違反する行為（無許可道路使用）	道路交通法第119条第2項第7号	E
(85) 建築基準法第98条第1項第1号の罪に当たる違法な行為（特定行政庁等の命令に対する違反）	建築基準法第9条第1項・第10項前段	D
(86) 消防法第39条の2の2（防火対象物の使用禁止命令違反等）、第39条の3の2（防火対象物の改修命令違反等）、第41条第1項第1号（火を使用する設	消防法第5条第1項、第5条の2第1項、第5条の3第1項、第17条の4第1項・第2項	D

<p>備の使用禁止等に係る命令違反) 若しくは第5号(消防用設備等の設置に係る命令違反等) 又は第44条第12号(消防用設備等の維持に係る措置命令違反等) の罪に当たる違法な行為</p> <p>(87) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条(投棄禁止) の規定に違反する行為</p> <p>(88) その他の法令の規定に違反する行為</p> <p><法に基づく処分又は条件に違反する行為></p> <p>(89) 指示処分違反</p> <p>(90) 営業停止命令違反</p> <p>(91) 許可の条件違反</p>	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条第1項第14号、第25条第2項</p> <p>第31条の24</p> <p>第31条の25第1項、第49条第4号</p> <p>第31条の23(第3条第2項)</p>	<p>D</p> <p>H</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>C</p>
<p>7 飲食店営業を営む者に対する営業停止命令(法第34条第2項)</p> <p><法若しくは法に基づく命令又は法に基づく条例の規定に違反する行為></p> <p>(1) 無許可風俗営業</p> <p>(2) 無許可特定遊興飲食店営業</p> <p>(3) 構造・設備維持義務違反</p> <p>(4) 照度規制違反</p> <p>(5) 騒音・振動規制違反</p> <p>(6) 客引き禁止違反</p> <p>(7) 客引き準備行為禁止違反</p> <p>(8) 年少者接客業務従事禁止違反</p> <p>(9) 年少者の立ち入らせ禁止違反</p> <p>(10) 二十歳未満の者に対する酒類・たばこ提供禁止違反</p> <p>(11) 深夜酒類提供飲食店営業の営業届出義務違反</p>	<p>第3条第1項、第49条第1号</p> <p>第31条の22、第49条第7号</p> <p>第32条第1項</p> <p>第32条第2項(第14条)</p> <p>第32条第2項(第15条)</p> <p>第32条第3項(第22条第1項第1号)、第52条第1号</p> <p>第32条第3項(第22条第1項第2号)、第52条第1号</p> <p>第32条第3項(第22条第1項第4号)、第50条第1項第4号</p> <p>第32条第3項(第22条第1項第5号)、第50条第1項第4号</p> <p>第32条第3項(第22条第1項第6号)、第50条第1項第4号</p> <p>第33条第1項・第3項、第54条第6号</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>D</p> <p>E</p> <p>D</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>E</p>

(12) 深夜酒類提供飲食店営業の営業廃止・変更届出義務違反	第33条第2項・第3項、第55条第3号	F
(13) 深夜酒類提供飲食店営業地域規制違反	第33条第4項に基づく条例、第50条第1項第10号	B
(14) 接客従業者に対する拘束的行為の規制違反	第33条第6項(第18条の2)	D
(15) 従業者名簿備付け記載義務違反	第36条、第53条第3号	D
(16) 接客従業者の生年月日等の確認義務違反	第36条の2第1項、第53条第4号	D
(17) 接客従業者の生年月日等の確認記録の作成保存義務違反	第36条の2第2項、第53条第5号	D
(18) 報告・資料提出義務違反	第37条第1項、第53条第6号	D
(19) 立入の拒否、妨害、忌避	第37条第2項、第38条の2第1項、第53条第7号	D
<他の法令の規定に違反する行為>		
(20) 刑法第174条、第175条、第183条、第185条、第186条、第224条、第225条（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(20)において同じ。）、第226条、第226条の2（第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(20)において同じ。）、第226条の3、第227条第1項（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(20)において同じ。）若しくは第3項（営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(20)において同じ。）又は第228条（同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(21) 刑法第136条若しくは第137条（これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。）、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで、第187条又は第223条の罪に当たる違法な行為		B
(22) 組織的犯罪処罰法第3条第1項（第5号又は第6号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(23) 組織的犯罪処罰法第3条（第1項第9号に係る部		B

<p>分に限る。)、第4条(同法第3条第1項第9号に係る部分に限る。)又は第6条(第1項第2号に係る部分に限る。)の罪に当たる違法な行為</p>	
<p>(24) 暴行、脅迫、監禁その他精神又は身体の自由を不当に拘束する手段によって、営業に従事する者の意思に反して次に掲げる役務を提供することを強制する行為</p> <p>イ 個室において異性の客の性的好奇心に応じてその客に接触する役務</p> <p>ロ 令第2条各号に規定する興行に係る衣服を脱いだ姿態を見せる役務</p> <p>ハ 面識のない異性との一時的性的好奇心を満たすための交際(会話を含む。)を希望する者と面会する役務(イに該当するものを除く。)</p>	D
<p>(25) (24)に規定する手段によって、客に(24)イ、ロ若しくはハに掲げる役務((24)ロに掲げる役務にあつては、令第2条第3号に規定する興行に係るものを除く。)の提供を受けること又は令第4条に規定する物品を購入し、若しくは借り受けることを強要する行為</p>	D
<p>(26) 売春防止法第2章の罪に当たる違法な行為</p>	A
<p>(27) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為</p>	A
<p>(28) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当たる違法な行為</p>	B
<p>(29) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為</p>	B
<p>(30) 労働基準法第117条、第118条第1項(同法第6条又は第56条に係る部分に限る。)又は第119条第1号(同法第61条又は第62条に係る部分に限る。)の罪(労働者派遣法の規定により適用する場合を含む。)に当たる違法な行為</p>	A

(31) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為	A
(32) 児童福祉法第60条第1項又は第2項（同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	A
(33) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	B
(34) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第1号から第4号の2まで又は第8号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為	E
(35) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為であつて、飲食店営業において客の接待その他客に接する業務に従事させていたもの	A
(36) (35)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為	B
(37) 出入国管理及び難民認定法第74条第1項、第2項若しくは第3項、第74条の2第1項若しくは第2項、第74条の3、第74条の4第1項、第2項若しくは第3項、第74条の5、第74条の6又は第74条の8第1項、第2項若しくは第3項の罪に当たる違法な行為	C
(38) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為	A
(39) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当たる違法な行為	D
(40) 覚醒剤取締法第41条の2（所持又は譲渡に係る部分に限る。）、第41条の3（同法第19条若しくは第20条第2項（これらの規定中他人に対する施用に係る部分に限る。）又は同条第3項に係る部分に限る。）、第41条の4（同法第30条の7、第30条の9（譲渡に係る部分に限る。）又は第30条の11（他人に対する施用に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違法な行為	B
(41) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2（譲渡、交付	B

又は所持に係る部分に限る。)、第64条の3(他人に対する施用に係る部分に限る。)、第66条(譲渡又は所持に係る部分に限る。)、第66条の2(同法第27条第1項、第3項又は第4項(これらの規定中他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。))に係る部分に限る。)、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為		
(42) あへん法第52条(譲渡又は所持に係る部分に限る。)、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為		B
(43) 競馬法第30条第3号又は第31条第1号の罪に当たる違法な行為		D
(44) 自転車競技法第56条第2号又は第57条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(45) 小型自動車競走法第61条第2号又は第62条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(46) モーターボート競走法第65条第2号又は第66条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(47) スポーツ振興投票の実施等に関する法律第32条又は第33条第2号の罪に当たる違法な行為		D
(48) 刑法第24章(礼拝所及び墳墓に関する罪)の罪に当たる違法な行為		D
(49) 関税法第69条の11第1項の規定(第1号及び第7号に係る部分に限る。)に違反する行為(薬物、公安・風俗を害する書籍・図画等の輸入)	関税法第109条第1項・第2項	A
(50) 電波法第108条(わいせつな通信の発信)の罪に当たる違法な行為		A
(51) 無限連鎖講の防止に関する法律第3条(無限連鎖講の禁止)の規定に違反する行為	無限連鎖講の防止に関する法律第5条、第6条、第7条	D
(52) 当せん金付証票法第6条第7項の規定に違反する行為(当せん金付証票の転売)	当せん金付証票法第18条第1項第1号	D
(53) 二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第1条第1項又は第2項の規定に違反する行為(二十歳未満の者の飲酒、親権者等の不制止)	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第3条第2項	F

(54) 二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第1条第3項の規定に違反する行為（営業者による酒類の販売・供与）	二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律第3条第1項	D
(55) 二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律第1条（二十歳未満の者の喫煙禁止）の規定に違反し、又は同法第3条第1項若しくは第2項（親権者等の不制止）の罪に当たる違法な行為		F
(56) 二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律第5条の罪に当たる違法な行為（煙草・器具の販売）		D
(57) 酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律第4条第1項若しくは第3項又は第5条第2項の罪に当たる違法な行為（酩酊者の粗野・乱暴な言動等）	酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律第4条第2項	F
(58) 動物の愛護及び管理に関する法律第44条第1項、第2項又は第3項の罪に当たる違法な行為（愛護動物のみだりな殺傷等）		E
(59) 軽犯罪法第1条第4号、第14号、第20号、第22号、第23号、第24号、第26号、第27号、第28号、第33号若しくは第34号又は第3条の罪に当たる違法な行為	軽犯罪法第2条	F
(60) 食品衛生法第6条若しくは第55条第1項の規定に違反し、又は同法第81条第1項第3号若しくは第83条第4号若しくは第5号の罪に当たる違法な行為（人の健康を損なうおそれがある食品の販売、無許可営業、営業停止命令違反等）	食品衛生法第54条、第55条第3項、第59条第1項、第60条、第61条、第81条第1項第1号、第81条第2項、第82条第1項・第2項	D
(61) 興行場法第2条第1項（営業の許可）の規定に違反し、又は同法第8条第2号（営業停止命令違反）若しくは第9条（虚偽の報告、検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	興行場法第5条第1項、第6条、第8条第1号	D
(62) 旅館業法第3条第1項（営業の許可）、第5条（宿泊をさせる義務）若しくは第6条第1項（宿泊者名簿の備付け等）の規定に違反し、又は同法第10条第2号（営業停止命令違反）若しくは第11条第2号（虚偽の報告、検査の妨害等）の罪に当たる違法な行為	旅館業法第7条第1項、第8条、第10条第1号、第11条第1号	D

<p>(63) 公衆浴場法第2条第1項(経営の許可)の規定に違反し、又は同法第8条第2号(営業停止命令違反)若しくは第9条(虚偽の報告、立入検査の妨害等)の罪に当たる違法な行為</p>	<p>公衆浴場法第6条第1項、第7条第1項、第8条第1号</p>	<p>D</p>
<p>(64) 道路交通法第77条第1項の規定に違反する行為(無許可道路使用)</p>	<p>道路交通法第119条第2項第7号</p>	<p>E</p>
<p>(65) 建築基準法第98条第1項第1号の罪に当たる違法な行為(特定行政庁等の命令に対する違反)</p>	<p>建築基準法第9条第1項・第10項前段</p>	<p>D</p>
<p>(66) 消防法第39条の2の2(防火対象物の使用禁止命令違反等)、第39条の3の2(防火対象物の改修命令違反等)、第41条第1項第1号(火を使用する設備の使用禁止等に係る命令違反)若しくは第5号(消防用設備等の設置に係る命令違反)又は第44条第12号(消防用設備等の維持に係る措置命令違反等)の罪に当たる違法な行為</p>	<p>消防法第5条第1項、第5条の2第1項、第5条の3第1項、第17条の4第1項・第2項</p>	<p>D</p>
<p>(67) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条(投棄禁止)の規定に違反する行為</p>	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条第1項第14号、第25条第2項</p>	<p>D</p>
<p>(68) その他の法令の規定に違反する行為</p>		<p>H</p>
<p><法に基づく処分に違反する行為></p>		
<p>(69) 指示処分違反</p>	<p>第34条第1項</p>	<p>C</p>
<p>(70) 営業停止命令違反</p>	<p>第34条第2項、第49条第4号</p>	<p>A</p>
<hr/>		
<p>8 興行場営業(法第2条第6項第3号の営業を除く。)を営む者に対する営業停止命令(法第35条)</p>		
<p><法に規定する罪></p>		
<p>(1) 刑法第174条又は第175条の罪</p>		<p>A</p>
<p>(2) 児童買春・児童ポルノ法第7条第2項から第8項までの罪</p>		<p>A</p>
<p>(3) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪</p>		<p>B</p>

<p>9 特定性風俗物品販売等営業に対する営業停止命令 (法第35条の2)</p> <p><法に規定する罪></p> <p>(1) 刑法第175条の罪</p> <p>(2) 児童買春・児童ポルノ法第7条第2項から第8項 までの罪</p> <p>(3) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に 記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消 去等に関する法律第2条から第6条までの罪</p>		<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>
<p>10 接客業務受託営業を営む者に対する営業停止命令 (法第35条の4第2項、同条第4項第2号)</p> <p><政令で定める重大な不正行為></p> <p>(1) 毒物及び劇物取締法第24条の2第1号の罪に当た る違法な行為</p> <p>(2) 覚醒剤取締法第41条の2(所持又は譲渡に係る部 分に限る。)、第41条の3(同法第19条若しくは第2 0条第2項(これらの規定中他人に対する施用に係る 部分に限る。))又は同条第3項に係る部分に限 る。)、第41条の4(同法第30条の7、第30条の9 (譲渡に係る部分に限る。))又は第30条の11(他人 に対する施用に係る部分に限る。))に係る部分に限 る。)、第41条の11又は第41条の13の罪に当たる違 法な行為</p> <p>(3) 麻薬及び向精神薬取締法第64条の2(譲渡、交付 又は所持に係る部分に限る。)、第64条の3(他人 に対する施用に係る部分に限る。)、第66条(譲渡 又は所持に係る部分に限る。)、第66条の2(同法 第27条第1項、第3項又は第4項(これらの規定中</p>		<p>D</p> <p>B</p> <p>B</p>

他人に対する施用又は施用のための交付に係る部分に限る。)に係る部分に限る。)、第66条の4、第68条の2、第69条第5号、第69条の5又は第70条第17号の罪に当たる違法な行為	
(4) あへん法第52条(譲渡又は所持に係る部分に限る。)、第54条の3又は第55条第1号の罪に当たる違法な行為	B
(5) 刑法第174条、第175条、第183条、第224条、第225条(営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(5)において同じ。)、第226条、第226条の2(第3項については、営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(5)において同じ。)、第226条の3、第227条第1項(同法第224条、第225条、第226条、第226条の2又は第226条の3の罪を犯した者を幫助する目的に係る部分に限る。以下(5)において同じ。))若しくは第3項(営利又はわいせつの目的に係る部分に限る。以下(5)において同じ。))又は第228条(同法第224条、第225条、第226条、第226条の2、第226条の3又は第227条第1項若しくは第3項に係る部分に限る。))の罪に当たる違法な行為	A
(6) 刑法第136条若しくは第137条(これらの規定中販売又は販売目的の所持に係る部分に限る。)、第139条第2項、第140条、第176条、第177条、第179条から第182条まで又は第223条の罪に当たる違法な行為	B
(7) 組織的犯罪処罰法第3条(第1項第9号に係る部分に限る。))又は第4条(同法第3条第1項第9号に係る部分に限る。))の罪に当たる違法な行為	A
(8) 組織的犯罪処罰法第6条(第1項第2号に係る部分に限る。))の罪に当たる違法な行為	B
(9) 売春防止法第2章(第5条を除く。))に規定する罪に当たる違法な行為	A
(10) 児童買春・児童ポルノ法第4条から第6条まで、第7条第2項から第8項まで又は第8条の罪に当たる違法な行為	A
(11) 児童買春・児童ポルノ法第7条第1項の罪に当た	B

る違法な行為		
(12) 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律第2条から第6条までの罪に当たる違法な行為		B
(13) 労働基準法第117条、第118条第1項（同法第6条又は第56条に係る部分に限る。）又は第119条第1号（同法第61条又は第62条に係る部分に限る。）の罪（労働者派遣法の規定により適用する場合を含む。）に当たる違法な行為		A
(14) 職業安定法第63条の罪に当たる違法な行為		A
(15) 児童福祉法第60条第1項又は第2項（同法第34条第1項第5号、第7号又は第9号に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		A
(16) 児童福祉法第60条第2項（同法第34条第1項第4号の3に係る部分に限る。）の罪に当たる違法な行為		B
(17) 出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為であって、法第2条第13項各号に掲げる営業において客の接待その他客に接する業務に従事させていたもの		A
(18) (17)以外の出入国管理及び難民認定法第73条の2第1項の罪に当たる違法な行為		B
(19) 労働者派遣法第58条の罪に当たる違法な行為		A
<法の規定による指示に違反する行為>		
(20) 受託接客従業者に対する拘束的行為の規制違反に対する指示処分違反	第35条の3第1号・第2号、第35条の4第1項・第4項第1号	C

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第4条の3第2項
処 分 の 概 要：認知症に係る指定医の診断書の提出命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条（許可）、第4条の3第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第15条（認知機能の低下の状況を判断する基準）
処 分 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第15条の基準に該当する場合は、認知症に係る専門医の診断書が既に提出されている場合等を除き、指定する医師の診断を受け、当該医師の診断書を提出することを命ずる。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第4条の4第2項
処 分 の 概 要 : 許可猟銃等に係る打刻命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第1号(許可)、第4条の4第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第18条(打刻命令)
処 分 基 準 : 銃番号が打刻されていない場合、銃番号が3桁以下である場合、既に同一の銃番号の猟銃等がある場合等は、打刻を命ずる。
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第4条の4第3項
処 分 の 概 要：許可クロスボウに係る表示措置命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第1号（許可）、第4条の4第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第18条の2（表示措置命令）
処 分 基 準： 所持許可に係るクロスボウに製造番号等固有の番号が刻印されていない場合、製造番号等固有の番号が刻印されているものの容易に消失するおそれがある場合等は、クロスボウ番号標の貼付けによる表示措置を命ずる。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第8条第7項
処 分 の 概 要：銃砲等又は刀剣類の提出命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第8条第6項・第7項
処 分 基 準： 当該銃砲等又は刀剣類が犯罪に使用されるおそれがある場合等、危害を予防する必要があると認めるとき、又は許可が失効した日から起算して50日を経過したときは、銃砲等又は刀剣類の提出を命じ、これを仮領置する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の2第2項
処 分 の 概 要：指定射撃場の指定の解除
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項（許可の基準）、第5条の2第2項第2号・第3号（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第9条の2第1項（指定射撃場の指定）・第2項 指定射撃場の指定に関する内閣府令第2条（射撃を行う銃砲の種類による指定射撃場の種類）、第3条（指定射撃場の種類ごとの区分）、第4条（位置に関する基準）、第5条（構造設備の基準）、第6条（設置者の基準）、第6条の2（管理者の基準）、第8条・第9条（指定射撃場の管理方法の基準）、第14条（指定の解除）
処 分 基 準：別紙のとおり
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準：

指定射撃場の指定に関する内閣府令（昭和37年総理府令第46号）に定める基準に適合しなくなった場合は、原則として指定を解除することとするが、短期間のうちに基準に適合するように改善等することが見込まれ、かつ、それまでの間、休業等の措置を執ろうとする場合には、解除しないことができる。

なお、指定射撃場の指定に関する内閣府令の基準の解釈等は次のとおり。

- 1 同府令第6条の2第1号に掲げる事由のうち、
 - (1) 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
 - (2) 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
 - 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
 - 注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
 - (3) 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 2 同府令第6条の2第2号の規定に該当する者とは、射撃を行おうとする者の銃砲や実包が、指定に係る種類の銃砲及びその銃砲に使用する実包であるか否かの識別、当該銃砲への実包の正しい装填手順の確認等ができるなど、射撃場の適正な管理に必要な銃砲と実包に関する知識を有している者をいう。
- 3 同府令第6条の2第3号の規定に該当する者とは、指定に係る種類の銃砲の射撃に習熟し、かつ適正な射撃動作に関する知識等射撃中の危害防止のために必要な知識を有している者をいう。

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の3第2項
処 分 の 概 要：猟銃等射撃指導員の指定の解除
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3第1項（猟銃等射撃指導員）・第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条（猟銃等射撃指導員の基準）
処 分 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条第1項各号について、その適合性の有無を判断し、いずれかの項目に不適合と判明すれば、指定を解除する。 なお、同規則に定める猟銃等射撃指導員の指定の基準中 (1) 「銃砲、火薬類及び狩猟に関する法令」とは、銃砲刀剣類所持等取締法、武器等製造法、火薬類取締法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法律、これらに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の処分を指す。 (2) 「相当な人格識見」とは、猟銃等の射撃に関するものにとどまらず、社会生活全般におけるそれを指す。 (3) 「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手方の個別具体的事案に即して指導可能な程度に知識、技能を有するという趣旨である。 これらは、指定時の水準を基準として判断するのではなく、解除の判断を行う時点での水準を基準として判断する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の3の2第2項
処 分 の 概 要：クロスボウ射撃指導員の指定の解除
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第1項（クロスボウ射撃指導員）・第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2（クロスボウ射撃指導員の基準）
処 分 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2各号について、その適合性の有無を判断し、いずれかの項目に不適合と判明すれば、指定を解除する。 なお、同規則に定めるクロスボウ射撃指導員の指定の基準中 (1) 「クロスボウに関する法令」とは、銃砲刀剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法律、これらに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の処分を指す。 (2) 「相当な人格識見」とは、クロスボウの射撃に関するものにとどまらず、社会生活全般におけるそれを指す。 (3) 「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手方の個別具体的事案に即して指導可能な程度に知識、技能を有するという趣旨である。 これらは、指定時の水準を基準として判断するのではなく、解除の判断を行う時点での水準を基準として判断する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の4第3項
処 分 の 概 要：教習射撃指導員の解任の命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の4第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第53条（教習射撃指導員の解任の命令）
処 分 基 準： 射撃成績の水増し等、その業務に関する不正や法令等の違反を行った教習射撃指導員に、そのまま射撃教習を続けさせることが、適正な射撃教習の実施に支障を来すと認められる場合は、教習射撃場の管理者に対し、その解任を命ずる。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第9条の5第3項
処 分 の 概 要 : 教習資格の認定の取消し
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項第2号～第18号・第5項(許可の基準)、 第5条の2第1項・第2項・第4項・第5項(猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの 許可の基準の特例)、第5条の4第1項(技能検定)、第9条の5第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第36条(許可証等の返納の手続)
処 分 基 準 : 別紙のとおり
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準：

法定の取消事由のうち、

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
 - 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
 - 注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合以外は、教習資格の認定を取り消す。

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第9条の6第3項
処 分 の 概 要 : 教習用備付け銃に係る打刻命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の6第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第18条(打刻命令)
処 分 基 準 : 銃番号が打刻されていない場合、銃番号が3桁以下である場合、既に同一の銃番号の猟銃等がある場合等は、打刻を命ずる。
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の7第3項
処 分 の 概 要：教習用備付け銃に関する措置命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項
処 分 基 準： 当該教習用備付け銃の保管が基準に適合していない場合は、法第9条の8第1項第4号の規定により教習射撃場の指定の解除を行う場合を除き、是正に通常必要と認められる期間を定め、保管の設備又は方法を基準に適合するよう改善すべき旨の命令を行うものとする。 その他危害予防上必要がある場合（保管基準を遵守してもなお危害発生のおそれがある場合に限る。）については、管理者が通常受忍すべきと認められる範囲において、是正に通常必要と認められる期間を定め、危害予防上必要な措置を執るべき旨の命令を行うものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の8第1項
処 分 の 概 要：教習射撃場の指定の解除、教習修了証明書の交付禁止
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の4第1項～第3項（教習射撃場の指定等）、第9条の5第5項（射撃教習）、第9条の6（教習用備付け銃）、第9条の7第2項～第5項（教習用備付け銃の管理）、第9条の8第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第61条（教習射撃場の指定の解除）、第62条（教習修了証明書の交付の禁止）
処 分 基 準： 法第9条の8第1項各号の事由につき、当該違反等に起因する実害の発生の有無、当該違反等の是正の見込み、過去における同種の違反等の有無、社会的に非難されるべき程度等を考慮し、解除等の処分を量定する。 なお、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第47条第1号の「必要な知識」とは、教習射撃場の管理に必要な法令、当該射撃場の指定に係る種類の銃砲及びその実包並びにその射撃動作等に関する知識をいい、「経験」とは、射撃場の運營業務、射撃、射撃指導等の経験をいう。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の8第2項
処 分 の 概 要：教習射撃場の指定の解除
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の4第1項（教習射撃場の指定）、第9条の8第1項（教習射撃場の指定の解除等）・第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第61条（教習射撃場の指定の解除）
処 分 基 準： 教習修了証明書の交付の禁止に対する違反については、違反の態様が特に軽微であり、再発のおそれがないと確実に認められる場合等を除き、教習射撃場の指定を解除するものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の9第2項
処 分 の 概 要：練習射撃指導員の解任の命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の4第3項（教習射撃指導員の解任の命令）、第9条の9第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第53条（教習射撃指導員の解任の命令）、第67条（練習射撃指導員の解任の命令）
処 分 基 準： 練習資格認定証に記載された銃種以外の銃種の猟銃を射撃練習者に撃たせる等、その業務に関する不正や法令等の違反を行った練習射撃指導員に、そのまま射撃練習に対する指導又は助言を続けさせることが、適正な射撃練習の実施に支障を来すと認められる場合、又は射撃練習を行おうとする年少射撃資格者に対し練習用備付け銃による射撃の指導を行う練習射撃指導員として指名を受けた場合において、当該指名に係る年少射撃資格者が当該練習射撃指導員の監督に従わないで練習用備付け銃を所持したときで、年少射撃資格者のした行為に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合は、練習射撃場の管理者に対し、その解任を命ずる。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の10第3項
処 分 の 概 要：練習資格の認定の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項第2号～第18号・第5項（許可の基準）、 第5条の2第1項・第2項・第4項・第5項（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの 許可の基準の特例）、第5条の4第1項（技能検定）、第9条の5第3項（射撃教 習）、第9条の10第3項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第36条（許可証等の返納の手続）
処 分 基 準：別紙のとおり
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準：

法定の取消事由のうち、

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合以外は、練習資格の認定を取り消す。

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の11第2項
処 分 の 概 要：練習用備付け銃に係る打刻命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の6第3項（番号又は記号の打刻）、第9条の11第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第18条（打刻命令）
処 分 基 準： 銃番号が打刻されていない場合、銃番号が3桁以下である場合、既に同一の銃番号の猟銃等がある場合等は、打刻を命ずる。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の11第2項
処 分 の 概 要：練習用備付け銃に関する措置命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項（教習用備付け銃に関する措置命令）、 第9条の11第2項
処 分 基 準： 当該練習用備付け銃の保管が基準に適合していない場合は、法第9条の12第1項 第5号の規定により指定の解除を行う場合を除き、是正に通常必要と認められる期間 を定め、保管の設備又は方法を基準に適合するよう改善すべき旨の命令を行うものと する。 その他危害予防上必要がある場合（保管基準を遵守してもなお危害発生のおそれがある 場合に限る。）については、管理者が通常受忍すべきと認められる範囲において、是正に通常必要と認められる期間を定め、危害予防上必要な措置を執るべき旨の 命令を行うものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の12第1項
処 分 の 概 要：練習射撃場の指定の解除
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の4第2項・第3項（教習射撃場の指定等）、第9条の6第2項・第3項（教習用備付け銃）、第9条の7第2項～第5項（教習用備付け銃の管理）、第9条の9（練習射撃場の指定等）、第9条の11（練習用備付け銃）、第9条の12第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第74条（練習射撃場の指定の解除）
処 分 基 準： 法第9条の12第1項各号の事由につき、当該違反等に起因する実害の発生の有無、当該違反等の是正の見込み、過去における同種の違反等の有無、社会的に非難されるべき程度等を考慮し、解除の適否を判断する。 なお、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第47条第1号の「必要な知識」とは、練習射撃場の管理に必要な法令、当該射撃場の指定に係る種類の銃砲及びその実包並びにその射撃動作等に関する知識をいい、「経験」とは、射撃場の運營業務、射撃、射撃指導等の経験をいう。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第9条の16第2項
処 分 の 概 要 : クロスボウ射撃資格の認定の取消し
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項・第5項(許可の基準)、第9条の5第3項(射撃教習)、第9条の16第2項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第36条(許可証等の返納の手続)
処 分 基 準 : 別紙のとおり
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準：

法定の取消事由のうち、

- 1 法第5条第1項第9号の「相当な理由」とは、許可の取消処分を逃れる目的で当該許可を故意に失効させたものとは認められない事由等をいう。
- 2 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。
 - 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。
 - 注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。
- 3 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
- 4 法第5条第5項の基準の適用については、同条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族がある場合に、申請者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合以外は、クロスボウ射撃資格の認定を取り消す。

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の6第6項
処 分 の 概 要：保管に係る銃砲に関する措置命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項（教習用備付け銃に関する措置命令）、 第10条の4第1項（銃砲の保管）、第10条の6第6項
処 分 基 準： 当該銃砲の保管が法第10条の4第2項又は第3項に違反している場合は、法第11条第1項第1号の規定により許可の取消しを行う場合を除き、是正に通常必要と認められる期間を定め、保管の設備又は方法を基準に適合するよう改善すべき旨の命令を行うものとする。 その他危害予防上必要がある場合（保管基準を遵守してもなお危害発生のおそれがある場合に限る。）については、所持者が通常受認すべきと認められる範囲において、是正に通常必要と認められる期間を定め、危害予防上必要な措置を執るべき旨の命令を行うものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の8第2項
処 分 の 概 要：猟銃等保管業者に対する措置命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項（教習用備付け銃に関する措置命令）、 第10条の8第1項（猟銃又は空気銃の保管の委託）・第2項
処 分 基 準： 当該保管の委託を受けた銃砲の保管が基準に適合していない場合は、是正に通常必要と認められる期間を定め、保管の設備又は方法を基準に適合するよう改善すべき旨の命令を行うものとする。 その他危害予防上必要がある場合（保管基準を遵守してもなお危害発生のおそれがある場合に限る。）については、保管業者が通常受忍すべきと認められる範囲において、是正に通常必要と認められる期間を定め、危害予防上必要な措置を執るべき旨の命令を行うものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の8第3項
処 分 の 概 要：猟銃等保管業者の業務の廃止命令、停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項（教習用備付け銃に関する措置命令）、 第10条の8第1項～第3項（猟銃又は空気銃の保管の委託）
処 分 基 準： 猟銃等保管業者が、法第10条の8第2項において準用する法第9条の7第3項の 規定による命令に応じなかった場合に、当該命令違反等に起因する実害の発生の有 無、当該違反等の是正の見込み、過去における同種の違反等の有無、社会的に非難さ れるべき程度等を考慮し、業務の廃止命令等の処分を量定する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の8の2第2項
処 分 の 概 要：クロスボウ保管業者に対する措置命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項（教習用備付け銃に関する措置命令）、 第10条の8の2第1項（クロスボウの保管の委託）・第2項
処 分 基 準： 当該保管の委託を受けたクロスボウの保管が基準に適合していない場合は、是正に通常必要と認められる期間を定め、保管の設備又は方法を基準に適合するよう改善すべき旨の命令を行うものとする。 その他危害予防上必要がある場合（保管基準を遵守してもなお危害発生のおそれがある場合に限る。）については、保管業者が通常受忍すべきと認められる範囲において、是正に通常必要と認められる期間を定め、危害予防上必要な措置を執るべき旨の命令を行うものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の8の2第3項
処 分 の 概 要：クロスボウ保管業者の業務の廃止命令、停止命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の7第3項（教習用備付け銃に関する措置命令）、 第10条の8の2第1項～第3項（クロスボウの保管の委託）
処 分 基 準： クロスボウ保管業者が、法第10条の8の2第2項において準用する法第9条の7 第3項の規定による命令に応じなかった場合に、当該命令違反等に起因する実害の発 生の有無、当該違反等の是正の見込み、過去における同種の違反等の有無、社会的に 非難されるべき程度等を考慮し、業務の廃止命令等の処分を量定する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の9第1項
処 分 の 概 要：所持許可を受けた者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条（許可）、第6条（国際競技に参加する外国人に対する許可の特例）、第10条の9第1項 火薬類取締法第50条の2第1項（猟銃用火薬類等の特則） 火薬類取締法施行令第12条（猟銃用火薬等）
処 分 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法第10条の9第1項に定める法律等に違反し、かつ、銃砲等又は刀剣類について適正な取扱いを行っていないと認めるときで、 <ul style="list-style-type: none">・ その違反行為が比較的軽微である・ 違反行為が反復して行われておらず、営利性、計画性も認められない・ 違反行為の再発防止が期待できる 等の条件を満たす場合は、危害予防上必要な措置を執るべきことを指示する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第10条の9第2項
処 分 の 概 要：年少射撃資格者に対する指示
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第3条第1項第4号の8（所持の禁止）、第4条第1項第5号の2（所持許可）、第10条の9第2項
処 分 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法等に違反し、かつ、空気銃について適正な取扱いを行っていないと認めるときで、 <ul style="list-style-type: none">・ その違反行為が比較的軽微である・ 違反行為が反復して行われておらず、営利性、計画性も認められない・ 違反行為の再発防止が期待できる 等の条件を満たす場合は、危害予防上必要な措置を執るべきことを指示する。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第1項
処 分 の 概 要：銃砲等又は刀剣類の所持許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条（許可）、第6条（国際競技に参加する外国人に対する許可の特例）、第4条第2項（条件）、第5条第1項第2号～第6号、第12号・第13号、第15号～第18号（許可の基準）、第5条の2第2項第2号・第3号、第4項第1号（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第11条第1項
処 分 基 準： 第11条第1項第1号の場合については、当該違反に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合に、許可を取り消すものとする。 なお、法定の人的欠格事由のうち、 1 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。 2 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持の許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第2項
処 分 の 概 要：銃砲等又は刀剣類の所持許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条（許可）、第6条（国際競技に参加する外国人に対する許可の特例）、第5条第5項（許可の基準）、第11条第2項
処 分 基 準： 法第5条第1項第3号から第5号まで又は第15号から第18号までに該当する同居の親族が生じた場合は、許可者が当該同居の親族の影響を排して銃砲等又は刀剣類を適正に保管等することができるものと認められる場合を除き、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第3項
処 分 の 概 要：銃砲等の所持許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第11条第3項
処 分 基 準： 当該人命救助等に従事する者の所持に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合に、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第4項
処 分 の 概 要：拳銃等又は猟銃の所持許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条（許可）、第6条（国際競技に参加する外国人に対する許可の特例）、第11条第4項 火薬類取締法第50条の2第1項（猟銃用火薬類等の特則） 火薬類取締法施行令第12条（猟銃用火薬等）
処 分 基 準： 当該違反に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合に、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第5項
処 分 の 概 要：猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの所持許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第1号（許可）、第11条第5項
処 分 基 準： 当該銃砲等を許可に係る用途に供していないことにつき、許可者に起因しないやむを得ない理由が認められる場合等を除き、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第6項
処 分 の 概 要：猟銃等射撃指導員の許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第5号の2（許可）、第11条第6項
処 分 基 準： 年少射撃資格者が銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第5号の2の規定による許可を受けた猟銃等射撃指導員の監督に従わないで当該許可に係る空気銃を所持したときで、年少射撃資格者のした行為に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合に、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条第7項
処 分 の 概 要：クロスボウ射撃指導員の許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第5号の3（許可）、第11条第7項
処 分 基 準： クロスボウ射撃資格者が銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第5号の3の規定による許可を受けたクロスボウ射撃指導員の監督に従わないで当該許可に係るクロスボウを所持したときで、クロスボウ射撃資格者のした行為に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合に、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第11条第8項
処 分 の 概 要 : 取消し前の銃砲等又は刀剣類の提出命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第11条第1項~第4項、第8項(許可の取消し及び仮領置)、第27条第1項(提出命令)
処 分 基 準 : 当該銃砲等又は刀剣類が犯罪に使用されるおそれがある場合等、危害を予防する必要があると認めるときは、銃砲等又は刀剣類の提出を命じ、これを仮領置する。
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条の3第1項
処 分 の 概 要：年少射撃資格の認定の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項第2号～第6号・第12号・第13号・第15号～第18号（許可の基準）、第5条の2第2項第2号・第3号（猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の基準の特例）、第9条の13（年少射撃資格の認定）、第11条の3第1項
処 分 基 準： 法定の取消事由のうち、 1 法第5条第1項第17号に該当する者とは、具体的には、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成3年国家公安委員会規則第8号）に掲げるものをいう。 2 法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、年少射撃資格の認定を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該年少射撃資格者が、空気銃を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第11条の3第2項
処 分 の 概 要：年少射撃資格の認定の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13（年少射撃資格の認定）、第11条の3第2項
処 分 基 準： 年少射撃資格者による当該違反に伴う実害の発生、同種事案の再発のおそれ、社会的に非難されるべき点等が認められる場合に、認定を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第12条の3
処 分 の 概 要 : 調査のための受診命令
原権者(委任先) : 青森県公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第4条(許可)、第6条(国際競技に参加する外国人に対する許可の特例)、第5条第1項第3号~第5号(許可の基準)、第9条の13第1項第1号(年少射撃資格の認定)、第12条の3
処 分 基 準 : 法第4条若しくは第6条の許可を受けた者又は第9条の13の年少射撃資格の認定を受けた者が、法第5条第1項第3号~第5号に該当するかどうかを調査するため必要があると認めるときは、医師の診断を受けるべきことを命ずる。
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課 (017-723-4211)
備 考 :

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第13条の3第1項
処 分 の 概 要：調査を行う間における銃砲等又は刀剣類の提出命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第4条（許可）、第6条（国際競技に参加する外国人に対する許可の特例）、第5条第1項第3号～第5号・第18号（許可の基準）、第12条の3（報告徴収等）、第13条の2（公務所等への照会）、第13条の3第1項
処 分 基 準： 当該銃砲等又は刀剣類を用いて危害が引き起こされてしまうおそれがある場合等、一定の欠格事由に該当する疑いがある者に、調査を行う間、これらを保管させておくことが適当ではないと認めるときは、当該銃砲等又は刀剣類の提出を命ずるものとする。 なお、法第5条第1項第18号の「相当な理由」とは、銃砲等又は刀剣類の所持許可を受けた者の現時点及び過去の言動、生活環境や周囲の人間関係等から、当該所持者が、銃砲等又は刀剣類を使用して他人の生命、身体若しくは財産若しくは公共の安全を害し、又は自殺をするおそれがあることが、社会的に見て客観的・合理的に存在すると認められる場合等をいう。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第27条第1項
処 分 の 概 要：銃砲等又は刀剣類の提出命令
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第3条第1項（所持の禁止）、第4条（所持許可）、第6条（国際競技に参加する外国人に対する許可の特例）、第10条第1項（運搬、携帯の制限）、第14条（登録）、第21条（所持の態様についての制限）、第27条第1項
処 分 基 準： 当該銃砲等又は刀剣類の所持が本法の所持の禁止に違反している場合、不正な手段により許可又は登録を受けた場合、携帯違反について再発のおそれがある場合等は、提出を命ずるものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：火薬類取締法
根 拠 条 項：第17条第3項
処 分 の 概 要：猟銃用火薬類の譲渡又は譲受の許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 火薬類取締法第17条第1項（譲渡又は譲受の許可）、第50条の2第1項（猟銃用火薬類等の特則）
処 分 基 準： 譲渡又は譲受の許可後に生じ、又は許可後に判明した事由により、当該火薬類の譲渡又は譲受に伴い、事件、事故等が発生する危険性が認められる場合は、引渡し前に限り、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

処 分 基 準

令和6年11月8日作成

法 令 名：火薬類取締法
根 拠 条 項：第25条第3項
処 分 の 概 要：猟銃用火薬類の消費の許可の取消し
原権者（委任先）：青森県公安委員会
法 令 の 定 め： 火薬類取締法第25条第1項（消費）、第50条の2第1項（猟銃用火薬類等の特則）
処 分 基 準： 爆発又は燃焼の許可後に生じ、又は許可後に判明した事由により、当該火薬類の爆発又は燃焼に伴い、事件、事故等が発生する危険性が認められる場合は、爆発又は燃焼前に限り、許可を取り消すものとする。
問 い 合 わ せ 先：生活安全部生活安全企画課（017-723-4211）
備 考：

許認可等一覧表（都道府県警察関係分）

令和6年11月8日

法令名	No.	根拠条項	処分の概要	行政庁		適用除外	審査基準	標準期間
				原権者	委任先			
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（風俗営業等適正化法） 〔C23-122〕	1	3-1	風俗営業の許可（第4条第3項の適用がない場合に限る。）	21	21		○	俵
	2	-1	風俗営業の許可（第4条第3項の適用がある場合に限る。）	21	21		○	俵
	3	5-4	許可証の再交付	21	21		ア	○
	4	7-1	風俗営業の相続の承認	21	21		○	○
	5	-5	相続の承認による許可証の書換え	21	21		ア	○
	6	702-1	風俗営業者たる法人の合併の承認	21	21		○	○
	7	-3	法人の合併による許可証の書換え	21	21		ア	○
	8	703-1	風俗営業者たる法人の分割の承認	21	21		○	○
	9	-3	法人の分割による許可証の書換え	21	21		ア	○
	10	9-1	営業所の構造又は設備の変更の承認	21	21		ア	俵
	11	-4	許可証の書換え	21	21		ア	○
	12	1002-1	特例風俗営業者の認定	21	21		○	俵
	13	-5	認定証の再交付	21	21		ア	○
	14	20-10	遊技機の増設、交替その他の変更の承認	21	21		ア	俵
	15	31-2	店舗型風俗営業の営業停止の標章の取り除き	21	21		ア	エ
	16	-3	店舗型風俗営業の営業停止の標章の取り除き	21	21		ア	エ
	17	31の6-3	受付所営業の営業停止の標章の取り除き	21	21		ア	エ
	18	31の16-2	店舗型電話異性紹介営業の営業停止の標章の取り除き	21	21		ア	エ
	19	-3	店舗型電話異性紹介営業の営業停止の標章の取り除き	21	21		ア	エ
	20	31の22	特定遊興飲食店営業の許可 （第31条の23において準用する第4条第3項の適用がない場合に限る。）	21	21		○	俵
	21	31の22	特定遊興飲食店営業の許可 （第31条の23において準用する第4条第3項の適用がある場合に限る。）	21	21		○	俵
	22	31の23	許可証の再交付	21	21		ア	○
	23	31の23	特定遊興飲食店営業の相続の承認	21	21		○	○
	24	31の23	相続の承認による許可証の書換え	21	21		ア	○
	25	31の23	特定遊興飲食店営業者たる法人の合併の承認	21	21		○	○
	26	31の23	法人の合併による許可証の書換え	21	21		ア	○
	27	31の23	特定遊興飲食店営業者たる法人の分割の承認	21	21		○	○
	28	31の23	法人の分割による許可証の書換え	21	21		ア	○
	29	31の23	営業所の構造又は設備の変更の承認	21	21		ア	俵
	30	31の23	許可証の書換え	21	21		ア	○
	31	31の23	特例特定遊興飲食店営業者の認定	21	21		○	俵
	32	31の23	認定証の再交付	21	21		ア	○
	33	39-1	都道府県風俗環境浄化協会の指定	21	なし		ウ	ウ
銃砲刀剣類所持等取締法 〔C33-006〕	1	4-1	銃砲等又は刀剣類の所持の許可	21	21		○	○
	2	404-1	許可に係る銃砲等又は刀剣類の確認	21	21		ア	○
	3	503-3	猟銃等講習会の講習修了証明書の書換え又は再交付	21	21		ア	○
	4	50302-3	クロスボウ講習会の講習修了証明書の書換え又は再交付	21	21		ア	○
	5	504-3	技能検定合格証明書の書換え又は再交付	21	21	3-1⑩	ア	○

	6	505-3	技能講習修了証明書の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
	7	6-1	国際競技に参加する外国人に対する所持許可	2 1	2 1		○	○
	8	7-2	許可証の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
	9	703-1	猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの許可の更新	2 1	2 1		○	ア
	10	902-1	指定射撃場の指定	2 1	2 1		○	○
	11	903-1	猟銃等射撃指導員の指定	2 1	2 1		○	○
	12	90302-1	クロスボウ射撃指導員の指定	2 1	2 1		○	○
	13	904-1	教習射撃場の指定	2 1	2 1		○	○
	14	905-2	射撃教習を受ける資格の認定	2 1	2 1		○	○
	15	905-4	教習資格認定証の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
	16	909-1	練習射撃場の指定	2 1	2 1		○	○
	17	9010-2	射撃練習を行う資格の認定	2 1	2 1		○	○
	18	9010-3	練習資格認定証の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
	19	9013-1	年少射撃資格の認定	2 1	2 1		○	○
	20	9013-3	年少射撃資格認定証の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
	21	9014-3	年少射撃資格講習修了証明書の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
	22	9016-1	クロスボウ射撃資格の認定	2 1	2 1		○	○
	23	9016-2	クロスボウ射撃資格認定証の書換え又は再交付	2 1	2 1		ア	○
銃砲刀剣類取締法施行令 [J 3 3 - 0 3 3]	1	24-2	国際競技に参加する外国人に対する許可の期間	2 1	2 1		○	○
風俗営業等の規制及び業務の適性化等に関する法律施行規則（風俗営業等適性化法施行規則） [Q 6 0 - 0 0 1]	1	45	店舗型性風俗特殊営業届出確認書の再交付	2 1	2 1		ア	○
	2	55-2	無店舗型性風俗特殊営業届出確認書の再交付	2 1	2 1		ア	○
	3	61-2	映像送信型性風俗特殊営業届出確認書の再交付	2 1	2 1		ア	○
	4	66-2	店舗型電話異性紹介営業届出確認書の再交付	2 1	2 1		ア	○
	5	72-2	無店舗型電話異性紹介営業届出確認書の再交付	2 1	2 1		ア	○
火薬類取締法 [C 2 5 - 1 4 9]	1	17-1	猟銃用火薬類等の譲渡し又は譲受けの許可	2 1	2 1		○	○
	2	-8	譲渡許可証又は譲受許可証の再交付	2 1	2 1		ア	○
	3	19-4	運搬証明書の再交付	2 1	2 1		ア	○
	4	24-1	猟銃用火薬類等の輸入の許可	2 1	2 1		○	○
	5	25-1	猟銃用火薬類等の消費の許可	2 1	2 1		○	○
核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（原子炉等規制法） [C 3 2 - 1 6 6]	1	59-9	運搬証明書の書換え	2 1	なし		ア	○
	2	-10	運搬証明書の再交付	2 1	なし		ア	○
化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律施行令 [K 0 7 - 1 9 2]	1	302	運搬証明書の書換え	2 1	なし		ア	○
	2	303	運搬証明書の再交付	2 1	なし		ア	○

感染症の予防及び感染症の患者に対する 医療に関する法律施行令 [K 1 0 - 4 2 0]	1	21	運搬証明書の書換え 運搬証明書の再交付	2 1	なし	ア	○
	2	22		2 1	なし	ア	○

不利益処分一覧表（都道府県警察関係分）

令和6年11月8日

法令名	No.	根拠条項	処分の概要	行政庁		処分基準
				原権者	委任先	
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（風俗営業等適正化法） [C23-122]	1	3-2	風俗営業の許可の条件の付加及び変更	21	21	イ
	2	8	風俗営業の許可の取消し	21	21	○
	3	10の2-6	特例風俗営業者の認定の取消し	21	21	ア
	4	25	風俗営業者に対する指示	21	21	○
	5	26-1	風俗営業の許可の取消し、停止命令	21	21	○
	6	-2	飲食店営業の停止命令	21	21	○
	7	29	店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する指示	21	21	○
	8	30-1	店舗型性風俗特殊営業の停止命令	21	21	○
	9	-2	店舗型性風俗特殊営業の廃止命令	21	21	○
	10	-3	浴場営業等の停止命令	21	21	○
	11	31の4-1	無店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する指示	21	21	○
	12	31の5-1	無店舗型性風俗特殊営業の停止命令	21	21	○
	13	-2	受付所営業の廃止命令	21	21	○
	14	31の6-2①	無店舗型性風俗特殊営業を営む者に対する指示	21	21	○
	15	②	無店舗型性風俗特殊営業の停止命令	21	21	○
	16	③	受付所営業の廃止命令	21	21	○
	17	31の9-1	映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する指示	21	21	○
	18	31の10	映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する年少者利用防止のための命令	21	21	○
	19	31の11-2①	映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する指示	21	21	○
	20	②	映像送信型性風俗特殊営業を営む者に対する年少者利用防止のための命令	21	21	○
	21	31の14	店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する指示	21	21	○
	22	31の15-1	店舗型電話異性紹介営業の停止命令	21	21	○
	23	-2	店舗型電話異性紹介営業の廃止命令	21	21	○
	24	31の19-1	無店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する指示	21	21	○
	25	31の20	無店舗型電話異性紹介営業の停止命令	21	21	○
	26	31の21-2①	無店舗型電話異性紹介営業を営む者に対する指示	21	21	○
	27	②	無店舗型電話異性紹介営業の停止命令	21	21	○
	28	31の23	特定遊興飲食店営業の許可の条件の付加及び変更	21	21	イ
	29	31の23	特定遊興飲食店営業の許可の取消し	21	21	○
	30	31の23	特例特定遊興飲食店営業者の認定の取消し	21	21	ア
	31	31の24	特定遊興飲食店営業者に対する指示	21	21	○
	32	31の25-1	特定遊興飲食店営業の許可の取消し、停止命令	21	21	○
	33	-2	飲食店営業の停止命令	21	21	○
	34	34-1	飲食店営業者に対する指示	21	21	○
	35	-2	飲食店営業の停止命令	21	21	○
	36	35	興行場営業の停止命令	21	21	○
	37	35の2	特定性風俗物品販売等営業の停止命令	21	21	○
	38	35の4-1	接客業務受託営業を営む者に対する指示	21	21	○
	39	-2	接客業務受託営業の停止命令	21	21	○
	40	35の4-4①	接客業務受託営業を営む者に対する指示	21	21	○
	41	-4②	接客業務受託営業の停止命令	21	21	○
	42	39-3	都道府県風俗環境浄化協会に対する改善命令	21	なし	イ
	43	-4	都道府県風俗環境浄化協会の指定の取消し	21	なし	イ

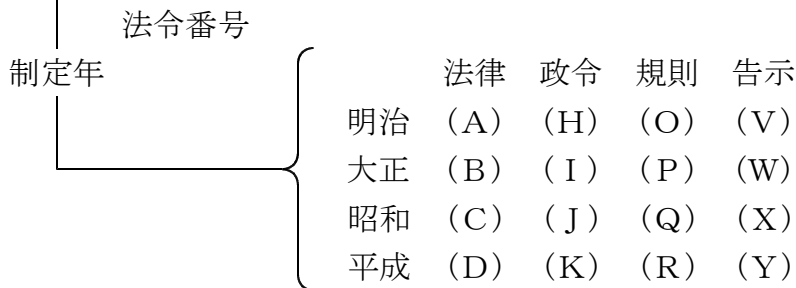
銃砲刀剣類所持等取 締法 [C33-006]	1	4-2	銃砲等の許可の条件の付加及び変更	2 1	2 1	イ
	2	403-2	認知症に係る指定医の診断書の提出命令	2 1	2 1	○
	3	404-2	許可猟銃等に係る打刻命令	2 1	2 1	○
	4	404-3	許可クロスボウに係る表示措置命令	2 1	2 1	○
	5	8-7	銃砲等又は刀剣類の提出命令	2 1	2 1	○
	6	802-2	拳銃部品の提出命令	2 1	2 1	ア
	7	902-2	指定射撃場の指定の解除	2 1	2 1	○
	8	903-2	猟銃等射撃指導員の指定の解除	2 1	2 1	○
	9	90302-2	クロスボウ射撃指導員の指定の解除	2 1	2 1	○
	10	904-3	教習射撃指導員の解任の命令	2 1	2 1	○
	11	905-3	教習資格の認定の取消し	2 1	2 1	○
	12	906-3	教習用備付け銃に係る打刻命令	2 1	2 1	○
	13	907-3	教習用備付け銃に関する措置命令	2 1	2 1	○
	14	908-1	教習射撃場の指定の解除、教習修了証明書 の交付禁止	2 1	2 1	○
	15	-2	教習射撃場の指定の解除	2 1	2 1	○
	16	-3	教習用備付け銃の提出命令	2 1	2 1	ア
	17	909-2	練習射撃指導員の解任の命令	2 1	2 1	○
	18	9010-3	練習資格の認定の取消し	2 1	2 1	○
	19	9011-2	練習用備付け銃に係る打刻命令	2 1	2 1	○
	20	-2	練習用備付け銃に関する措置命令	2 1	2 1	○
	21	9012-1	練習射撃場の指定の解除	2 1	2 1	○
	22	-2	練習用備付け銃の提出命令	2 1	2 1	ア
	23	9016-2	クロスボウ射撃資格の認定の取消し	2 1	2 1	○
	24	1006-6	保管に係る銃砲に関する措置命令	2 1	2 1	○
	25	1008-2	猟銃等保管業者に対する措置命令	2 1	2 1	○
	26	-3	猟銃等保管業者の業務の廃止命令、停止命令	2 1	2 1	○
	27	100802-2	クロスボウ保管業者に対する措置命令	2 1	2 1	○
	28	-3	クロスボウ保管業者の業務の廃止命令、停止 命令	2 1	2 1	○
	29	1009-1	所持許可を受けた者に対する指示	2 1	2 1	○
	30	1009-2	年少射撃資格者に対する指示	2 1	2 1	○
	31	11-1	銃砲等又は刀剣類の所持許可の取消し	2 1	2 1	○
	32	-2	銃砲等又は刀剣類の所持許可の取消し	2 1	2 1	○
	33	-3	銃砲等の所持許可の取消し	2 1	2 1	○
	34	-4	拳銃等又は猟銃の所持許可の取消し	2 1	2 1	○
	35	-5	猟銃若しくは空気銃又はクロスボウの所持 許可の取消し	2 1	2 1	○
	36	-6	猟銃等射撃指導員の許可の取消し	2 1	2 1	○
	37	-7	クロスボウ射撃指導員の許可の取消し	2 1	2 1	○
	38	-8	取消し前の銃砲等又は刀剣類の提出命令	2 1	2 1	○
	39	-9	取消し後の銃砲等又は刀剣類の提出命令	2 1	2 1	ア
	40	1102-1	取消し前の拳銃部品の提出命令	2 1	2 1	ア
	41	-3	取消し後の拳銃部品の提出命令	2 1	2 1	ア
	42	1103-1	年少射撃資格の認定の取消し	2 1	2 1	○
	43	1103-2	年少射撃資格の認定の取消し	2 1	2 1	○
	44	1203	調査のための受診命令	2 1	2 1	○

	45	1303-1	調査を行う間における銃砲等又は刀剣類の提出命令	2 1	2 1	○
	46	1303-3	調査を行う間における拳銃部品の提出命令	2 1	2 1	ア
	47	25-1	本邦上陸者の銃砲等の提出命令	2 2	なし	ア
	48	27-1	銃砲等又は刀剣類の提出命令	2 1	2 1	○
火薬類取締法 [C 2 5 - 1 4 9]	1	17-3	猟銃用火薬類等の譲渡又は譲受の許可の取消し	2 1	2 1	○
	2	19-2	火薬類の運搬方法等の指示	2 1	2 1	イ
	3	25-3	猟銃用火薬類等の消費の許可の取消し	2 1	2 1	○
	4	45	火薬類の運搬等に関する緊急措置	2 1	2 1	エ
核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律(原子炉等規制法) [C 3 2 - 1 6 6]	1	59-6	核燃料物質等の運搬方法の指示	2 1	なし	イ
放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律(放射線障害防止法) [C 3 2 - 1 6 7]	1	18-6	放射性同位元素等の運搬方法の指示	2 1	なし	イ
化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律(化学兵器禁止法) [D 0 7 - 0 6 5]	1	17-2	特定物質の運搬方法の指示	2 1	なし	イ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症予防法) [D 1 0 - 1 1 4]	1	56の27-2	病原体等の運搬方法の指示	2 1	なし	イ

許認可等一覧表 凡例

1 法令名欄

[C 3 5 - 1 0 5]



※ 規則・・・内閣府令（共同命令を含む。）及び国家公安委員会規則

2 根拠条項欄

（条番号）－（項番号）－（丸付き号番号）

例：第9条の4第1項第3号 → 「9の4－1－③」

3 行政庁欄

（記入数字）

（内容）

1 0	内閣総理大臣又は国家公安委員会
2 0	都道府県知事
2 1	都道府県公安委員会（斜字は方面公安委員会）
2 2	警察署長又は警察本部長
2 9	高速道路交通警察隊長等

4 適用除外欄

行政手続法の規定が適用除外となる行政手続法の根拠条項を示す。

5 審査基準欄

- (1) 何らかの審査基準を定めるもの ----- ○
- (2) 審査基準を定める必要がないもの
 - 判断基準が法令の定め尽くされている処分であるため ----- ア
 - 許認可の性質上、個々の申請について個別具体的な判断をせざるを得ないものであって、法令の定め以上に具体的な基準を定めることが困難であると認められるものであるため ----- イ
 - 全国又は都道府県に1を限り指定（認可）される法人に関する処分であって個々の申請について個別具体的な判断をせざるを得ないものである上、当面行われる予定のないものであるため ----- ウ
- (3) 当面審査基準を定める必要がないもの
 - 処分の先例がなく又は稀であり、審査基準を法令の定め以上に具体化することが困難であるため ----- エ

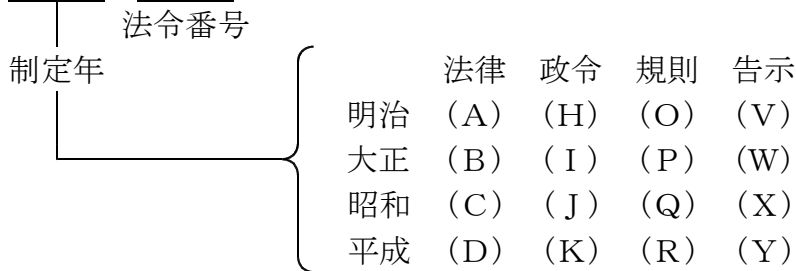
6 標準処理期間欄

- (1) 標準処理期間を定めるもの ----- ○
- (2) 標準処理期間を定めないもの
 - 標準処理期間が法令の定め尽くされている処分であるため ----- ア
 - 許認可の性質上、個々の申請について個別具体的な判断をせざるを得ないものであって、法令の定め以上に具体的な基準を定めることが困難であると認められるものであるため ----- イ
(目安となる期間を定める場合は「イ※」とした。)
 - 全国又は都道府県に1を限り指定(認可)される法人に関する処分であって個々の申請について個別具体的な判断をせざるを得ないものである上、当面行われる予定のないものであるため ----- ウ
 - 申請の先例がなく又は稀であり、標準処理期間を法令の定め以上に具体化することが困難であるため ----- エ

不利益処分一覧表 凡例

1 法令名欄

[C 3 5 - 1 0 5]



※ 規則・・・内閣府令（共同命令を含む。）及び国家公安委員会規則

2 根拠条項欄

（条番号）－（項番号）－（丸付き号番号）

例：第9条の4第1項第3号 → 「9の4－1－㊸」

3 行政庁欄

（記入数字）

（内容）

1 0	内閣総理大臣又は国家公安委員会
2 0	都道府県知事
2 1	都道府県公安委員会（斜字は方面公安委員会）
2 2	警察署長又は警察本部長
2 9	高速道路交通警察隊長等

4 適用除外欄

行政手続法の規定が適用除外となる行政手続法の根拠条項を示す。

5 処分基準欄

- (1) 何らかの処分基準を定めるもの ----- ○
- (2) 処分基準を定めないもの
 - 判断基準が法令の定め尽くされている処分であるため ----- ア
 - 処分等の性質上、個々の申請について個別具体的な判断をせざるを得ないものであって、法令の定め以上に具体的な基準を定めることが困難であると認められるものであるため ----- イ
 - 全国又は都道府県に1を限り指定（認可）される法人に関する処分であって個別具体的な判断をせざるを得ないものである上、当面行われる予定のないものであるため ----- ウ
 - 処分の先例がなく又は稀であり、処分基準を法令の定め以上に具体化することが困難であるため ----- エ
 - 処分基準を定めるが、脱法的行為を助長するおそれがあり、公表しないこととする必要があるため ----- オ